

保健体育

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	保体 002-72	A B 198	令和 6 年
4	大日本図書	大日本◆	保体 702	B 5 変形 196	令和 2 年
50	大修館書店	大修館◆	保体 050-72	A B 206	令和 6 年
224	Gakken	学 研◆	保体 224-72	A B 206	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【保健体育科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【体育分野の目標】

【第1学年及び第2学年】

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

【第3学年】

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

【保健分野の目標】

- (1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

- (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 体育分野のページ数	教科の目標	ページ
b 保健分野のページ数	教科の目標	ページ
c 体育分野の単元別ページ数	教科の目標	単元別ページ
d 保健分野の単元別ページ数	教科の目標	単元別ページ
e 体力に関する箇所数	教科の目標	箇所
f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する箇所数	教科の目標	箇所
g 武道に関する箇所数	教科の目標	箇所
h 性に関する箇所数	教科の目標	箇所
i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する箇所数	教科の目標	箇所
j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	教科の目標	箇所
k 発展的な内容を取り上げている箇所数	学習指導要領 総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

- ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項
調査研究項目のc、d及びe～kとの関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- c 体育分野（別紙2-1）
- d 保健分野（別紙2-2）
- e 体力に関する内容（別紙2-3）
- f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する内容（別紙2-4）
- g 武道に関する内容（別紙2-5）
- h 性に関する内容（別紙2-6）
- i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容（別紙2-7）
- j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する内容（別紙2-8）
- k 発展的な内容の扱い（別紙2-9）

<その他>

- * 1 防災や自然災害の扱い（別紙2-10）
- * 2 障害者理解に関する扱い（別紙2-11）
- * 3 性差と家族についての扱い（別紙2-12）
- * 4 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙2-13）
- * 5 固定的な性別役割分担意識に関する記述等（別紙2-14）

- ② 調査項目を設定した理由等

- ・ 中学校学習指導要領の改訂において新たに付け加えられたり、重要視されたりした項目を設定し、これらの記述内容を調査し比較することとした。（e、f、g、h、

i、j)

- 体育分野の体力に関する内容については、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (1)保健体育科改訂の趣旨 ③改善の具体的事項」において、「ア(イ)体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性を認識し、運動やスポーツの習慣化につなげる観点から体づくり運動の内容等について改善を図る。」と示されていることから調査項目とした。(e)
- 体育分野の運動やスポーツの多様な関わり方に関する内容については、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (2)保健体育科改訂の要点」において、「③運動やスポーツとの多様な関わり方を重視する観点から、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう指導内容の充実を図ること。その際、共生の視点を重視して改善を図ること。」と示されていることから調査項目とした。(f)
- 体育分野の武道に関する内容については、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (1)保健体育科改訂の趣旨 ③改善の具体的事項」において、ア(エ)「グローバル化する社会の中で、我が国固有の伝統と文化への理解を深める観点から、日本固有の武道の考え方に触れることができるよう、内容等について一層の改善を図る」と示されていることから調査項目とした。(g)
- 保健分野の性に関する内容については、中学校学習指導要領解説総則編「第1節 中学校教育の基本と教育課程の役割 2 生きる力を育む各学校の特色ある教育活動の展開(第1章第1の2)(3)健やかな体(第1章第1の2の(3))」において、「生徒が健康情報や性に関する情報等を正しく選択して適切に行動できるようにする」と示されていることから調査項目とした。(h)
- 保健分野のストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容について、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (2)保健体育科改訂の要点 ウ内容及び内容の取扱いの改善〔保健分野〕(イ)内容の改訂」において「ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容を示すこととした」と示されていることから調査項目とした。(i)
- 保健分野のがんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する内容について、特にながんの予防について、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (2)保健体育科改訂の要点 ウ内容及び内容の取扱いの改善〔保健分野〕(イ)内容の改訂 ㉞健康な生活と疾病の予防」において「生活習慣病などの予防でがんを取り扱うことを示した」と示されていることから調査項目とした。(j)
- 発展的な内容については、学習指導要領第1章総則「第2節 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通事項 (1)内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、(3)「指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」と示されている。
これらのことから、発展的な内容の扱いの有無、取り上げている内容の具体的な学習の内容について調査する。(k)
- 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する>(*1)
- 東京都教育委員会の基本方針1である「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成を踏まえ、障害のある人も障害のない人もともに尊重し合いながら活躍できる社会、共生社会の実現を目指す上で、障害のある幼児・児童・生徒に対する理解を深められるようにするため、その扱いについて調査する>(*2)
- 性差と家族に関する表現については、東京都教育委員会教育目標の基本方針1に基づき、男女共同参画社会を目指すものの、男女の性差まで否定するものではないとの観点から、性差等に関する表現について、記述の内容を調査するとともに、「東京都男女平等参画基本条例」に基づき、適正な男女平等教育を推進するという観点から、男女が家庭生活における活動に対等な立場で参画する観点や家庭観について取り上げられている内容について調査する>(*3)
- 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する>(*4)

- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。（＊5）

③ 調査研究の方法

- e 体力に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- f 運動やスポーツの多様な関わり方に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- g 武道に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- h 性に関する内容に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- k 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2（16）に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

<その他>

- * 1 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- * 2 障害者理解を深める単元・項目・記述の概要を調査する。
- * 3 性差（多様な性に関することを含む）と家族に関する表現について取り上げている内容について調査する。ただし、生物学的な性差に関することは、「h 性に関する内容」で調査する。
- * 4 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- * 5 固定的な性別役割分担意識について考える単元・項目・記述の概要を調査する。

（2）構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点により箇条書きで記述する。

- ア 口絵
- イ 章扉・章末
- ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
 - ・読みもの
 - ・教科書の使い方（冊子のつくり・教材配列等）
- エ ユニバーサルデザインの視点
- オ デジタルコンテンツの扱い
- カ その他

「別紙1」【(1) 内容 ア 調査研究の総括表】(中学校 保健体育)

項目 発行者	a 体育分野のページ数				b 保健分野のページ数				e 体力に関する箇所数	f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する箇所数	g 武道に関する箇所数	h 性に関する箇所数	i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する箇所数	j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	k 発展的な内容を取り上げている箇所数	
	c 体育分野の単元別ページ数				d 保健分野の単元別ページ数											
	運動やスポーツの多様性	効用と学び方や安全な行	運動やスポーツの意義	文化としてのスポーツの意義	健康な生活と疾病の予防	心身の機能の発達と心の健康	傷害の防止	健康と環境								
東 書	32	11	11	10	124	54	28	22	20	10	8	3	7	13	10	20
大日本	40	12	16	12	122	50	25	29	18	11	7	6	5	9	7	15
大修館	40	12	16	12	140	60	32	26	22	10	14	5	8	16	12	13
学 研	38	12	12	14	132	56	28	28	20	10	12	3	4	10	12	18
平均値	37.5	11.8	13.8	12.0	129.5	55.0	28.3	26.3	20.0	10.3	10.3	4.3	6.0	12.0	10.3	17.0

表中の「平均値」は、体育分野、保健分野ごとの数値であり、小数点以下第2位を四捨五入した。

aについては、体育分野の単元別ページ数を合計した数字である。

bについては、保健分野の単元別ページ数を合計した数字である。

cについては、体育分野における単元別の内容構成のページ数を合計した数字である。

dについては、保健分野における単元別の内容構成のページ数を合計した数字である。

eからkについては、各項目に関して記載されている箇所数である。複数の項目に関係する内容は、それぞれでカウントした。

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 東書】(中学校 保健体育)

	c 体育分野					
	運動やスポーツの多様性	ページ数	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	ページ数	文化としてのスポーツの意義	ページ数
単元別の 内容構成 (ページ数)	・ 体育編1章 運動やスポーツの多様性	1	・ 体育編2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	1	・ 体育編3章 文化としてのスポーツの意義	1
	・ 1 運動やスポーツの必要性和楽しさ	2	・ 1 運動やスポーツの効果	2	・ 1 現代社会におけるスポーツの文化的意義	2
	・ 2 運動やスポーツへの多様な関わり方	2	・ 2 運動やスポーツの学び方	2	・ 2 国際的なスポーツ大会の役割	2
	・ 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方	2	・ 3 運動やスポーツの安全な行い方	2	・ 3 人々を結び付けるスポーツ	2
	・ 章末資料	3.5	・ 章末資料	3.5	・ 章末資料	2.5
	・ 学習のまとめ	0.5	・ 学習のまとめ	0.5	・ 学習のまとめ	0.5

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 大日本】(中学校 保健体育)

	c 体育分野					
	運動やスポーツの多様性	ページ数	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	ページ数	文化としてのスポーツの意義	ページ数
単元別の 内容構成 (ページ数)	・ 体育編1章 運動やスポーツの多様性	1	・ 体育編2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	1	・ 体育編3章 文化としてのスポーツの意義	1
	・ 1 運動やスポーツの必要性和楽しさ	2	・ 1 運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果	2	・ 1 スポーツの文化的意義	2
	・ 2 運動やスポーツへの多様な関わり方	2	・ 2 運動やスポーツの学び方	2	・ 2 国際的なスポーツ大会の文化的な役割	2
	・ 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方	2	・ 3 安全な運動やスポーツの行い方	2	・ 資料	2
	・ 章末資料	3	・ 章末資料	7	・ 3 人々を結ぶ付けるスポーツ	2
	・ 学びを活かそう	1	・ 学びを活かそう	1	・ 学びを活かそう	1
	・ 学習のまとめ	1	・ 学習のまとめ	1	・ 学習のまとめ	1
					・ オリンピック・パラリンピックエピソード	1

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 大修館】(中学校 保健体育)

	c 体育分野					
	運動やスポーツの多様性	ページ数	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	ページ数	文化としてのスポーツの意義	ページ数
単元別の 内容構成 (ページ数)	・ 体育理論① 運動やスポーツの多様性	2	・ 体育理論② 運動やスポーツの効果・学び方・安全	2	・ 体育理論③ 文化としてのスポーツ	2
	・ 1 運動やスポーツの必要性和楽しさ	2	・ 1 運動やスポーツの体と心への効果	2	・ 1 現代生活におけるスポーツの意義	2
	・ 2 運動やスポーツへのかかわり方	2	・ 特集資料	2	・ 2 国際的なスポーツ大会の意義と役割	2
	・ 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方	2	・ 2 運動やスポーツの学び方	2	・ 特集資料	2
	・ 特集資料	2	・ 3 運動やスポーツの安全なおこない方	2	・ 3 人びとを結ぶスポーツ	2
	・ 章のまとめ	2	・ 特集資料	4	・ 章のまとめ	2
			・ 章のまとめ	2		

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 学研】(中学校 保健体育)

	c 体育分野					
	運動やスポーツの多様性	ページ数	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	ページ数	文化としてのスポーツの意義	ページ数
単元別の 内容構成 (ページ数)	・ 体育編1章 スポーツの多様性	2	・ 体育編2章 スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	2	・ 体育編3章 文化としてのスポーツ	2
	・ 1 スポーツの始まりと発展	2	・ 1 スポーツが心身と社会性に及ぼす効果	2	・ 1 スポーツの文化的意義	2
	・ 2 スポーツへの多様な関わり方	2	・ 2 スポーツの学び方	2	・ 2 国際的なスポーツ大会とその役割	2
	・ 3 スポーツの多様な楽しみ方	2	・ 3 スポーツの安全な行い方	2	・ 3 人々を結び付けるスポーツ	2
	・ 探究しようよ!	3	・ 探究しようよ!	3	・ 探究しようよ!	5
	・ 章のまとめ	1	・ 章のまとめ	1	・ 章のまとめ	1

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 東書】(中学校 保健体育)

d 保健分野								
単元別の 内容構成 (ページ 数)	健康な生活と疾病の予防	ページ数	心身の機能の発達と心の健康	ページ数	傷害の防止	ページ数	健康と環境	ページ数
	単元別の 内容構成 (ページ 数)	・保健編1章 健康な生活と疾病の予防①	1	・保健編2章 心身の機能の発達と心の健康	1	・保健編3章 傷害の防止	1	・保健編5章 健康と環境
・1健康の成り立ちと疾病の発生要因		2	・1体の発育・発達	2	・1傷害の発生要因	2	・1環境への適応能力	2
・2運動と健康		2	・2呼吸器・循環器の発育・発達	2	・2交通事故の発生要因	2	・2活動に適する環境	2
・3食生活と運動		2	・3生殖機能の成熟	4	・3交通事故の危険予測と回避	2	・熱中症の予防と手当	2
・4休養・睡眠と健康		2	・4性に関する適切な態度や行動の選択	2	・4犯罪被害の防止	2	・3飲料水の衛生的管理	2
・5調和のとれた生活		2	・5心の発達	2	・5自然災害による危険	2	・4室内の空気の衛生的管理	2
・章末資料		2.5	・6自己形成と心の健康	2	・6自然災害による傷害の防止	2	・5生活に伴う廃棄物の衛生的管理	4
・学習のまとめ		0.5	・7心と体の関わり	2	・共に生きる	2	・放射線と健康	2
・保健編4章 健康な生活と疾病の予防②		1	・8欲求と心の健康	2	・7応急手当の意義と方法	2	・章末資料	2.5
・1生活習慣病の起こり方		2	・9ストレスによる健康への影響	2	・8心肺蘇生法	2	・学習のまとめ	0.5
・2生活習慣病の予防		2	・10ストレスへの対処の方法	2	・章末資料	2.5		
・3がんの予防		2	・章末資料	4.5	・学習のまとめ	0.5		
・4喫煙の害と健康		2	・学習のまとめ	0.5				
・5飲酒の害と健康		2						
・6薬物乱用の害と健康		2						
・7薬物乱用の社会的な影響		2						
・8喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処		2						
・章末資料		2.5						
・学習のまとめ		0.5						
・保健編6章 健康な生活と疾病の予防③		1						
・1感染症の広がり方		2						
・2感染症の予防		2						
・3性感染症の予防		2						
・4エイズの予防		2						
・5医薬品の利用		2						
・6保健・医療機関の利用		2						
・7健康を守る社会の取り組み		2						
・8保健の学習を振り返ろう		2						
・巻末資料		2.5						
・学習のまとめ		0.5						

「別紙2-2」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 大日本】(中学校 保健体育)

	d 保健分野							
	健康な生活と疾病の予防	ページ数	心身の機能の発達と心の健康	ページ数	傷害の防止	ページ数	健康と環境	ページ数
単元別の 内容構成 (ページ 数)	・保健編1章 健康な生活と病気の予防	1	・保健編2章 心身の発達と心の健康	1	・保健編4章 傷害の防止	1	・保健編第6章 健康と環境	1
	・1健康の成り立ち	2	・1体の発育・発達	2	・1傷害の発生要因と防止	2	・1環境への適応能力	2
	・2運動と健康	2	・2呼吸器官・循環器官の発育・発達	2	・2交通事故の要因と傷害の防止	4	・2快適な環境の条件	2
	・3食生活と健康	2	・3生命を生み出す体への成熟	4	・3犯罪被害の防止	2	・3空気の汚れと換気	2
	・4休養・睡眠と健康	2	・4思春期の心の変化への対応	2	・4自然災害による傷害の防止	2	・4水の役割と飲料水の条件	2
	・5調和のとれた生活	2	・5考える心・感動する心の発達	2	・資料 自然災害の脅威	2	・5生活にともなう廃棄物の処理	2
	・章末資料	1	・6人との関わりと自分らしさ	2	・5応急手当の基本	2	・6環境問題への取り組み	2
	・学びを活かそう	1	・7欲求への対処	2	・6心肺蘇生法	2	・章末資料	3
	・学習のまとめ	1	・8ストレスへの対処	2	・7出血があるときの応急手当	2	・学びを活かそう	1
	・保健編3章 健康な生活と病気の予防	1	・9心と体の関わり	2	・8外傷の応急手当	2	・学習のまとめ	1
	・1生活習慣病の予防	2	・章末資料	2	・章末資料	2		
	・2がんの予防	2	・学びを活かそう	1	・学びを活かそう	1		
	・3喫煙と健康	2	・学習のまとめ	1	・学習のまとめ	1		
	・4飲酒と健康	2						
	・5薬物乱用と健康	2						
	・6喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ	2						
	・章末資料	3						
	・学びを活かそう	1						
	・学習のまとめ	1						
	・保健編5章 健康な生活と病気の予防	1						
	・1感染症の原因	2						
	・2感染症の予防	2						
	・3性感染症の予防	2						
	・4エイズの予防	2						
	・5個人の健康を守る社会の取り組み	2						
	・6医薬品の有効利用	2						
	・章末資料	3						
・学びを活かそう	1							
・学習のまとめ	1							

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 大修館】(中学校 保健体育)

	d 保健分野							
	健康な生活と疾病の予防	ページ数	心身の機能の発達と心の健康	ページ数	傷害の防止	ページ数	健康と環境	ページ数
単元別の 内容構成 (ページ 数)	・保健① 健康な生活と病気の予防①	2	・保健② 心身の発達と心の健康	2	・保健④ けがの防止と応急手当て	2	・保健⑥ 環境の健康への影響	2
	・1 健康の成り立ち	2	・1 体の発育・発達	2	・1 けがの原因と防止	2	・1 環境の変化への体の適応	2
	・2 運動と健康	2	・2 呼吸器・循環器の発育・発達	2	・2 交通事故の実態と原因	2	・2 気象情報の適切な利用	2
	・3 食事と健康	2	・3 生殖機能の成熟(1)	2	・3 交通事故によるけがの防止	2	・3 快適で能率のよい環境	2
	・4 休養・睡眠と健康	2	・4 生殖機能の成熟(2)	2	・特集資料	2	・4 室内の空気の汚染と換気	2
	・特集資料	2	・5 性への関心と性情報への対処	2	・4 自然災害によるけがの防止	2	・5 衛生的な飲料水の供給	2
	・章のまとめ	2	・特集資料	2	・5 応急手当の意義と基本	2	・6 し尿とごみの処理	2
	・保健③ 健康な生活と病気の予防②	2	・6 知的機能・情意機能の発達	2	・6 心肺蘇生法の流れ	2	・7 災害と環境	2
	・1 生活習慣病	2	・7 社会性の発達と自立	2	・7 実習 心肺蘇生法	2	・8 私たちの生活と環境問題	2
	・2 生活習慣病の予防	2	・8 自己形成	2	・8 実習 止血法、包帯法、固定法	2	・特集資料	2
	・3 がんとその予防	2	・9 欲求とその充足	2	・特集資料	4	・章のまとめ	2
	・4 生活習慣病・がんの早期発見とその回復	2	・10 心と体のかかわりとストレス	2	・章のまとめ	2		
	・5 喫煙と健康	2	・11 ストレスへの対処のしかた	2				
	・6 飲酒と健康	2	・12 実習 リラクゼーションの方法	2				
	・7 薬物乱用と健康	2	・特集資料	2				
	・8 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処	2	・章のまとめ	2				
	・特集資料	2						
	・章のまとめ	2						
	・保健⑤ 健康な生活と病気の予防③	2						
	・1 感染症と病原体	2						
	・2 感染症と体の抵抗力	2						
	・3 感染症の予防	2						
	・4 性感染症とその予防	2						
	・5 エイズとその予防	2						
	・6 保健機関とその利用	2						
	・7 医療機関とその利用	2						
	・8 医薬品の正しい使い方	2						
	・特集資料	4						
	・章のまとめ	2						

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 学研】(中学校 保健体育)

d 保健分野								
健康な生活と疾病の予防	ページ数	心身の機能の発達と心の健康	ページ数	傷害の防止	ページ数	健康と環境	ページ数	
単元別の 内容構成 (ページ 数)	・保健編1章 健康な生活と病気の予防①	2	・保健編2章 心身の発達と心の健康	2	・保健編4章 傷害の防止	2	・保健編6章 健康と環境	2
	・1健康の成り立ち	2	・1体の発育・発達	2	・1傷害の原因と防止	2	・1環境の変化と適応能力	2
	・2生活習慣と健康(1)運動と健康	2	・2呼吸器・循環器の発達	2	・2交通事故の現状と原因	2	・2活動に適した環境	2
	・3生活習慣と健康(2)食生活と健康	2	・3生殖機能の成熟	4	・3交通事故の防止	2	・3室内の空気の条件	2
	・4生活習慣と健康(3)休養・睡眠と健康	2	・4性とどう向き合うか	2	・4犯罪被害の防止	2	・4水の役割と飲料水の確保	2
	・5生活習慣と健康(4)調和のとれた生活	2	・5心の発達(1)知的機能と情意機能の発達	2	・5自然災害に備えて	2	・5生活排水の処理	2
	・探求しようよ!	3	・6心の発達(2)社会性の発達	2	・自然災害から身を守るために①(地震・火山噴火)	2	・6ごみの処理	2
	・章のまとめ	1	・7自己形成	2	・自然災害から身を守るために②(台風・大雨、大雪、竜巻)	2	・7環境の汚染と保全	2
	・保健編3章 健康な生活と病気の予防②	2	・8欲求不満やストレスへの対処	4	・6応急手当の意義と基本	2	・探究しようよ!	2
	・1生活習慣病とその予防	4	・実習 リラクゼーションの方法	1	・実習 心肺蘇生法 傷病者に意識がない場合の手当	4	・章のまとめ	2
	・2がんとその予防	2	・心と体のSOS	1	・実習 きずの手当	2		
	・3喫煙と健康	2	・探究しようよ!	2	・探究しようよ!	2		
	・4飲酒と健康	2	・章のまとめ	2	・章のまとめ	2		
	・5薬物乱用と健康	2						
	・6喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ	2						
	・たばこ・酒・薬物に手を出さないために	2						
	・探求しようよ!	3						
	・章のまとめ	1						
	・保健編5章 健康な生活と病気の予防③	2						
	・1感染症とその予防	4						
	・2性感染症とその予防/エイズ	4						
	・3健康を守る社会の取り組み	2						
	・4医療機関の利用と医薬品の使用	2						
・探究しようよ!	3							
・章のまとめ	1							

「別紙2-3」 【(1)内容 e 体力に関する箇所数】(中学校 保健体育)

発行者	e 体力に関する箇所数	
	取り上げている内容	具体的な学習の内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○運動の効果 (P16) ○食生活と健康 (P18) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方 (P60) ○運動やスポーツの効果 (P110) ○ " ○ " ○運動やスポーツの学び方 (P112) ○体力の要素 (P116) ○現代社会におけるスポーツの文化的意義 (P162) ○新体力テスト (P175-176) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動は健康を支える体力を養うとともに、適度に行うことで気分転換になることを説明している。 ・夕食には1日の活動によって消耗した体力を補ったり、疲労を回復させたりする役割があることを説明している。 ・多様な楽しみ方をまとめた表の中で体力を高め、健康を維持する具体例を示している。 ・適度に運動やスポーツを行うことで、体力や運動技能の維持・向上に効果があることを説明している。 ・体力は、巧みさ・力強さ・粘り強さなどによって成り立っていることを説明している。 ・運動やスポーツを行うための体力3要素の年間発達量の変化について、図を用いて示している。 ・技術や技能と体力の関係について文章やイラストを用いて説明している。 ・体力の要素や高め方について図で示している。 ・スポーツをすることで体力を維持、向上させると説明している。 ・測定項目について、実施方法や注意点を文章と図で示している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P4-5) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P9) ○運動と健康(P18-19) ○ " ○ " ○身体活動(P26) ○呼吸器・循環器の発育・発達(P32) ○運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果(P56-57) ○ " ○体力の向上(P62-63) ○ニコニコペース走(P68) ○マイトレーニングをつくろう!(P68) ○環境への適応能力(P150) ○新体力テスト(P168-169) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や体力の維持・向上のためには、生涯にわたって運動したり、保健体育の学習で運動などを行って体を動かしたりすることが必要であることを説明している。 ・健康や体力の維持・向上のために行う運動の一つに「体ほぐし運動」「体の動きを高める運動」があることを説明している。 ・運動を行うと体力が向上し、運動不足になると体力や体の抵抗力が低下することなど、運動の効果・影響を文章、箇条書きで説明している。 ・「トピックス」の中で、「体の動きを高める運動」を行うことで、体力を高めることができると説明している。 ・体力向上などを目的として意図的に行う運動をイラストで説明している。 ・身体活動とは、健康の増進や体力の向上などの目的をもって余暇時間に行う運動であることを説明している。 ・呼吸器・循環器のはたらきが向上すると、全身に酸素が効率よく送られるため、運動を長く続けられ体力(持久力)も向上することを説明している。 ・中学生の時期に様々な運動やスポーツを適切に行うと、運動の技能だけでなく、筋力、全身持久力、柔軟性、体を巧みに動かす能力など健康に生活するための体力と、運動などを行うための体力が向上することを説明している。 ・運動やスポーツを行うための体力3要素の年間発達量の変化について図を用いて示している。 ・体力の要素、中学校で学ぶ運動と関連して高まる主な体力の要素をイラストを用いて説明している。 ・全身持久力を維持・向上するための運動について説明している。 ・自己に適したトレーニングの行い方を例を挙げながら説明している。 ・高地トレーニングの効果について、その仕組みや実践した選手の例と共に説明している。 ・測定項目について、行い方や注意点、測定のねらいをイラストを交えて説明している。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちの成長と運動やスポーツの広がり(口絵3・4) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P7) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P11) ○運動と健康(P20-21) ○呼吸器・循環器の発育・発達(P35) ○運動やスポーツの効果・学び方・安全(P63) ○運動やスポーツの体と心への効果(P64) ○特集資料 体力を高めよう(P66-67) ○特集資料 スポーツ選手の体(P72) ○巻末資料 新体力テスト(P184-185) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少期から将来の運動の必要性や健康や体力を維持することについて、イラストや写真を用いて説明している。 ・スポーツを行う目的に健康や体力の保持増進があることを説明している。 ・運動やスポーツの楽しむためには、体力が必要な要素であることについて説明している。 ・持久的な運動を続けることで、呼吸器・循環器の働きが発達することを説明している。また、適度な運動は体力や体の抵抗力を高めることを説明している。 ・思春期に持久的な運動を継続することで、呼吸器・循環器の働きを高めることを説明している。 ・イラストを用いて、「適切な強度、時間、頻度で体力を高める」ことを説明している。 ・発達段階を踏まえて運動やスポーツを行うことで、体力や技能が高まることを説明している。 ・体力の要素と体づくり運動の例をイラストを用いて説明している。また、体力向上のための計画を立てやすくするための、例示されている。 ・総合的な体力テストと学力テストの関係について、グラフを用いて説明している。 ・新体力テストの項目や要素、実施方法などについてイラストを交えて説明している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの始まりと発展(P16) ○運動と健康(P30) ○運動と健康(P31) ○スポーツが心身と社会性に及ぼす効果(P74) ○ " ○スポーツの学び方(P76) ○探究しよう!体力の必要性(P80) ○スポーツの文化的意義(P138) ○新体力テストの行い方(P192-193) ○体力の測定とその活用(P194) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツは体力や健康を保持増進するための運動として工夫されたと説明している。また、スポーツが体力を高めるはたらきがあることをイラストで説明している。 ・運動の効果に体力の維持・向上を取り上げている。 ・中学生の時期は、特に持久力や筋力が著しく発達する時期であることを説明している。 ・体力は、活力のある生活を送っていくための土台となるもので、健康に生活する体力と運動を行うための体力があることを説明している。 ・コラムで体力測定と体力について説明している。 ・技術・技能と体力の関係についてイラストで示している。 ・災害から生命を守るため、避難に必要な体力を整理し、説明している。 ・運動・スポーツがもたらす効果の中で、健康・体力の保持増進が一番多い割合をイラストで示している。 ・測定項目について、行い方や注意点を文章とイラストで示している。 ・体力測定の活用の仕方を文章とイラストで説明している。

「別紙2-4」 【(1) 内容 f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する箇所数】(中学校 保健体育)

発行者	f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する箇所数	
	取り上げている内容	具体的な学習の内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツの必要性和楽しさ (P56) ○運動やスポーツへの多様な関わり方 (P58) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方 (P60) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方 (P61) ○私とスポーツ (P62-63) ○運動やスポーツの効果 (P111) ○現代社会におけるスポーツの文化的意義 (P162) ○人々を結びつけるスポーツ (P166-167) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの楽しさはさまざまであり、楽しさは多様に広がることを文章やイラストで説明している。 ・運動やスポーツは「すること」のほかに「見ること」「支えること」「知ること」という関わり方があることを説明している。 ・生涯にわたって運動を楽しむための方法や、運動やスポーツの楽しみ方は目的に応じて多様であることを文章や表を用いて説明している。 ・生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るためには様々な違いを超えて、いっしょに運動やスポーツを楽しむ能力を高めておくことが大切であることを説明している。 ・章末資料の中で、様々な職業に携わる人の話を写真やイラストとともに示している。 ・体力や技能、年齢や性別、障がいの有無など、個人のさまざまな違いを超えて運動やスポーツを行う際に求められる社会性を説明している。 ・スポーツを通じた多様な関わりの中から、楽しみや生きる喜びを見いだすことができることを説明している。 ・違いを超えてスポーツと関わることについて、文章や写真で説明している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツはみんなができる、みんなをつなげる(口絵5、6) ○運動やスポーツの多様性(P3) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P4-5) ○ ○運動やスポーツへの多様な関わり方(P6-7) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P8-9) ○ ○ ○ ○ ○人々を結びつけるスポーツ(P126-127) ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツを行う、見る、支える、楽しむなど豊かなスポーツライフの実現の形を口絵を用いて説明している。 ・「運動やスポーツの必要性和楽しさ」、「運動やスポーツへの多様な関わり方」、「運動やスポーツの多様な楽しみ方」を学習し、自分のスポーツライフを見つめること、中学校と高校のそれぞれで学習することを説明している。 ・運動やスポーツは誰もが生涯にわたり楽しめるものへと変化していることを説明している。 ・生涯にわたる運動やスポーツの必要性和楽しさ、保健体育の学習で学ぶ運動種目の例をイラストを用いて説明している。 ・運動やスポーツは行うことだけでなく、見る、支える、知るといった多様な関わり方があることを説明している。 ・生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するためには、運動やスポーツを楽しむための能力を高めることが大切であると説明している。 ・目的、年齢、性別などの違いを超えてスポーツを楽しむ例として「キンボール」を取り上げている。 ・生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための運動やスポーツの多様な関わり方をイラストを用いて説明している。 ・仲間の体力や技能レベル、年齢、性別、障害の有無などの違いを超えて運動やスポーツを行う際に求められる社会性を説明している。 ・イラストを用いて、運動やスポーツとの多様な関わり方を示している。 ・スポーツは民族や国、人種や性別、障害の有無などの違いを超えて、文化的な働きをもっていることを説明している。 ・トピックスで、「アダプテッド・スポーツ」について説明している。 ・人々を結びつけるスポーツについて、写真を用いて示している。 ・違いを超えて交流を深めるスポーツ大会について、写真を用いて示している。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○世界中から選手や観客がどよう国際的なスポーツ(口絵1-4) ○私たちの成長と運動やスポーツの広がり(口絵3・4) ○共生社会をつくるために(口絵5-6) ○運動やスポーツの多様性(P5) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P6-7) ○運動やスポーツへのかかわり方(P8-9) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P10-11) ○特集資料 運動やスポーツを「知る」というかかわり方(P12) ○特集資料 スポーツの新しい楽しみ方(P13) ○運動やスポーツの体と心への効果(P64) ○文化としてのスポーツ(P126-127) ○現代生活におけるスポーツの意義(P128-129) ○国際的なスポーツ大会の意義と役割(P131) ○人びとを結ぶスポーツ(P134-135) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックやパラリンピックなどの国際的なスポーツ大会に様々な人が多様な関わり方をしていくことについて、キーワードや写真で説明している。 ・スポーツの多様な関わり方を写真などで説明している。 ・障害の有無や性の違いを超えて、関わる様子を写真や文章で説明している。 ・マラソンをもとに、仲間、応援、ボランティアなどの関わり方があることを写真を用いて説明している。 ・スポーツの多様な関わり方が楽しさの追求につながることをイラストや文章で説明している。 ・する、みる、支える、知るといった多様な関わり方があることを、写真や文章を用いて説明している。 ・多様な楽しみ方について、文章や資料、イラストを用いて説明している。また、豊かなスポーツライフを実現するためには、運動やスポーツを楽しむために必要な能力を高めることや仲間、空間、時間を確保することが大切であることを説明している。 ・運動やスポーツの「知る」という関わり方について、跳馬の進化やサッカーボールの進化を例に、写真を用いて説明している。 ・スポーツの新しい楽しみ方として、「ゆるスポーツ」や「超人スポーツ」について、写真を用いて説明している。 ・社会性を高めることとして、運動やスポーツの関わりについて説明している。 ・オリンピックなどの国際的なスポーツ大会で、ボランティア活動などを通してスポーツと関わっている様子を写真や文章を用いて説明している。 ・学校体育施設の開放、プロスポーツチーム開催のスポーツ教室などについて、文章や写真を用いて説明している。 ・メディアの発達により、「みるスポーツ」が充実したことを説明している。 ・民族や国、人種、地域、風土、年齢、性、障害の有無などの違いを超えて、スポーツは文化であると説明している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○関わり合って生きる私たち(P5) ○スポーツの多様性(P15) ○スポーツの多様な関わり方(P18-19) ○スポーツの多様な楽しみ方(P20) ○スポーツの多様な楽しみ方(P21) ○探究しようよ!(P22-24) ○ ○スポーツが心身と社会性に及ぼす効果(P74-75) ○文化としてのスポーツ(P136-137) ○スポーツの文化的意義(P139) ○国際的なスポーツ大会とその役割(P141) ○人々を結びつけるスポーツ(P143) ○探究しようよ!(P148) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツに様々な人が関わっていることを写真で示している。 ・「ひと・もの・こと」でサッカー女子審判員の山下良美さんのサッカーへの関わり方について紹介している。 ・スポーツには、行う、見る、支える、知るなど、多様な関わり方があることを説明している。 ・運動やスポーツを生涯にわたって楽しむためには、自分にあった運動や多様な楽しみ方を見つけたり工夫したりすることが大切であることを説明している。 ・目的や年齢、性別といったさまざまな違いを超えてスポーツを楽しむための行い方を選んだり、見つけたり、工夫したりすることができるようになっておくよといことが説明されている。 ・「スポーツを見る」「スポーツの学びを支える技術」「スポーツを知る」「スポーツをつくる」について写真とイラスト、文章を用いて説明している。 ・「アダプテッド・スポーツ」について写真と文章を用いて説明している。 ・仲間の体力や技能の程度、年齢や性別、障害の有無など、さまざまな違いを超えてスポーツを行う際に求められる社会性を説明している。 ・国際大会などでは民族や国、人種や性、障害の有無等の違いを際立たせながらも、世界中の人がそれらを超えてわかり合える可能性に気付かせてくれることを説明している。 ・スポーツは、国や人種、性別、障害の有無などにかかわらず、生涯にわたって楽しむことができる重要な文化であることを説明している。 ・国際的なスポーツ大会での交流や活動の例を掲載し、さまざまな関わり方を示している。 ・民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、障害の有無といった違いを超えて、誰もが共通の経験を味わうことを資料2を示しながら、説明している。 ・生涯にわたってスポーツに親しむために、自分が「このようにスポーツに関わりたい」と思う姿をイメージしようとしている。

「別紙2-5」 【(1)内容 g 武道に関する箇所数】(中学校 保健体育)

発行者	g 武道に関する箇所数	
	取り上げている内容	具体的な学習の内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○運動と健康 (P17) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ (P56) ○人々を結び付けるスポーツ (P167) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりのための運動量の目安の中で、武道をイラストで取り上げている。 ・運動やスポーツの多様な楽しさの例で柔道のイラストを取り上げている。 ・違いを超えるさまざまなスポーツの場面で、年齢の違いを超えて剣道を行う様子が写真で示されている。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツはみんなができる、みんなをつなげる(口絵5) ○運動やスポーツの移り変わり(P11) ○安全な運動やスポーツの行い方(P61) ○中学校で学ぶ運動と関連して高まる主な体力の要素(P63) ○運動やスポーツの技術と学び方の例(P67) ○スポーツの文化的意義(P120) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツを行う視点で、攻防を制する場面の例として剣道を取り上げ写真を用いて説明している。 ・武道の歴史や変遷などを文章と口絵で説明している。 ・段階的な練習を行う例として柔道のイラストを取り上げている。 ・中学校で学習する武道と、それによって高まる体力要素をイラストを用いて示している。 ・中学校で学習する武道の技術や学び方について、イラストを用いて説明している。 ・「ミニ知識」として日本生まれのスポーツには柔道、剣道、相撲、なぎなた、弓道などの武道があることを説明している。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツの学び方 (P69) ○運動やスポーツの安全なおこない方 (P70-71) ○ ○特集資料 柔道MINDプロジェクト (P73) ○国際的なスポーツ大会の意義と役割 (P131) 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道の効果的な学び方の例として、柔道の写真を取り上げ、説明している。 ・服装、施設、用具の点検の例として、剣道のイラストを用いて説明している。 ・仲間の安全への配慮の例として、柔道のイラストを用いて説明している。 ・柔道MINDプロジェクトとして、嘉納治五郎の精神や心を大切にしていこうと説明されている。 ・コラムとして、柔道創設者の嘉納治五郎について説明している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの多様性 (P14) ○スポーツの始まりと発展 (P17) ○スポーツの多様な楽しみ方 (P21) ○文化としてのスポーツ (P137) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の練習を支え合うことについて、柔道の写真を取り上げている。 ・楽しさや必要性から見たスポーツの事例として、柔道のイラストを取り上げている。 ・エクササイズにおいて相撲をすることを取り上げている。 ・「ひと・もの・こと」で柔道の創始者である嘉納治五郎について取り上げている。

「別紙2-6」 【(1) 内容 h 性に関する箇所数】(中学校 保健体育)

発行者	h 性に関する箇所数	
	取り上げている内容	具体的な学習の内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○体の発育・発達 (P29) ○生殖機能の成熟 (P32-35) ○性に関する適切な態度や行動の選択 (P36-37) ○胎児を育てる母体の神秘 (P50) ○性の多様性 (P51) ○性感染症の予防 (P146-147) ○エイズの予防 (P148-149) 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、卵巣や精巣などの生殖器が急速に発育し、男女の体の変化や特徴が現れることが説明されている。 ・思春期に起こる男女の体の変化には、ホルモンが関係していることや男女の生殖機能の発達、受精と妊娠について文章と資料の図や写真を用いて説明している。 ・性的関心の高まりとお互いの尊重、性情報への対処の方法について説明している。 ・胎児と母体について文章と図や写真を用いて説明している。 ・生物学的な性と自分の意識が一致しない人がいることを文章やイラストを用いて説明している。 ・性感染症は、性的接触によって感染する疾病であることを資料や写真を用いて説明している。 ・エイズの特徴や、予防対策について資料や写真を用いて説明している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○体の発育・発達 (P30) ○生命を生み出す体への成熟 (P34-37) ○思春期の心の変化への対応 (P38-39) ○性感染症の予防 (P136-137) ○エイズの予防 (P138-139) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の頃は、生殖機能が発育・発達する時期であることを説明している。 ・性腺の発育・発達、生命を生み出す体への成熟、各生殖器の発育・発達について文章やイラスト、図を用いて説明している。 ・思春期の心の変化、異性との関わり方や性情報への対処などについて文章やイラスト、図を用いて説明している。 ・性感染症や、青少年の感染、性感染症の予防について文章や写真、図を用いて説明している。 ・エイズとHIVの特徴や、エイズの予防法について資料や写真を用いて説明している。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○体の発育・発達 (P32-33) ○生殖機能の成熟 (1) (P36-37) ○生殖機能の成熟 (2) (P38-39) ○性への関心と性情報への対処 (P40-41) ○特集資料 「性」についての固定的な考え方に気づこう (P42-43) ○感染症と病原体 (P141) ○性感染症とその予防 (P146-147) ○エイズとその予防 (P148-149) 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、卵巣や精巣などの生殖器が急速に発育・発達することを説明している。 ・性ホルモンの働きが活発になり、男性ホルモン・女性ホルモンが分泌され大人の男女の体つきと機能が作られることが説明されている。また、女子では、卵子の成熟と排卵が起こり、月経について、文章とイラストを用いて説明している。 ・男子では、精子の生成と精液、射精について文章とイラストを用いて説明している。また、受精と妊娠について、文章やイラスト、写真を交えて説明している。 ・思春期には異性への関心が高まること、強い性欲が起こることを説明している。また、個人差があることや性について尊重することが説明されている。また、性情報について触れ、適切な判断と行動の選択が必要であることが説明されている。 ・「男性・女性らしさ」、「人間の性」について、「性的マイノリティ」について、図や具体例を挙げて説明している。 ・おもな感染経路で、接触感染として「性感染症」について、イラストを用いて記載している。 ・若い人の中で性感染症が問題になっていることに触れ、特徴や種類、予防法や受診の重要性について説明している。 ・エイズの問題点や感染経路、対策などについて、文章や写真を用いて説明している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○体の発育・発達 (P44-45) ○生殖機能の成熟 (P48-51) ○性とどう向き合うか (P52-53) ○性感染症とその予防/エイズ (P156-159) 	<ul style="list-style-type: none"> ・卵巣や精巣などの生殖器は思春期に急速に発育することを説明している。 ・思春期になると、男女の体つきにそれぞれ特徴的な変化が現れたり、月経や射精が起こったりすることを説明している。女子の生殖器と排卵・月経の仕組み、男子の生殖器と射精の仕組みをそれぞれイラストで示している。 ・思春期になると、身体機能の成熟に伴って、性意識にも変化が現れることを説明している。性情報に惑わされて誤った行動をし、犯罪に巻き込まれたり、心身ともに傷ついてしまったりすることもあることや、大人からの助言を参考にすることも有効であることを説明している。 ・性感染症とは、性的接触によって感染する病気であることを説明している。また資料を用いて、性器クラミジア感染症や梅毒の年間感染者数を男女別に示している。またエイズの特徴や予防について資料や図を用いて説明している。

「別紙2-7」 【(1) 内容 i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する箇所数】(中学校 保健体育)

発行者	i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する箇所数	
	取り上げている内容	具体的な学習の内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育の学習方法 (P11) ○ストレスによる健康への影響 (P46) ○ストレスへの対処の方法 (P48-49) ○応急手当の意義と方法 (P82-83) ○心肺蘇生法 (P84-85) ○運動やスポーツの効果 (P110) ○リラクゼーションの方法 (P178) ○直接圧迫止血法・包帯法 (P179) ○心肺蘇生法の手順 (P180) ○心肺蘇生法の方法 (胸骨圧迫) (P181) ○心肺蘇生法の方法 (気道の確保、人工呼吸) (P182) ○AED (自動体外式除細動器) (P183) ○RICE (ICER) (P192) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健で扱う「実習」について説明し、心臓マッサージのイラストを使用している。 ・ストレスについて説明し、原因や感じ方、ストレスの対処する力は人によって違うことを説明している。 ・ストレスとの向き合い方やその対処方法の例や対処について説明している。 ・応急手当の意義について説明し、直接圧迫止血法や包帯法を写真や図を用いて説明している。 ・心肺蘇生法 (胸骨圧迫・気道の確保・人工呼吸・AED) について、写真や図を用いて説明している。 ・心への効果として、適度な運動やスポーツはストレスの解消やリラックス効果が期待できることを説明している。 ・リラクゼーションの方法について、文章とイラストを用いて説明している。 ・直接圧迫止血法や包帯法について、写真やイラストを用いて説明している。 ・心肺蘇生法の手順について、イラストやフローチャートを用いて説明している。 ・胸骨圧迫の方法について、イラストや写真を用いて説明している。 ・気道の確保、人工呼吸の方法について、イラストや写真を用いて説明している。 ・AEDの使用法について、文章と写真を用いて説明している。 ・捻挫や打撲等の対処方法について、文章とイラストを用いて説明している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ストレスへの対処 (P46-47) ○心と体の関わり (P48-49) ○ " " ○リラクゼーションの方法 (P51) ○運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果 (P56) ○傷害の防止 (P89) ○応急手当の基本 (P104-105) ○心肺蘇生法 (P106-109) ○出血があるときの応急手当 (P110-111) ○外傷の応急手当 (P112-113) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスへの対処法やリラクゼーションの方法などをイラストを用いて説明している。 ・「トピックス」で笑いの健康効果について説明している。 ・心と体の調和について、イラストを用いて説明している。 ・リラクゼーションの方法として漸進的筋力かん法をイラストを用い、説明している。 ・運動やスポーツを楽しむことで、ストレスを解消したりリラックスすることができることを説明している。 ・写真を用いてAEDを示している。 ・応急手当の目的、傷病者を発見したときの行動、119番通報 (救急車の呼び方) などをイラストを用いて説明している。 ・心肺蘇生法の流れや手順を写真や一覧表にして説明している。 ・切り傷や鼻血など出血があるときの応急手当をイラストを用いて説明している。 ・打撲、脱臼、捻挫、骨折など外傷の応急手当の基本をイラスト等を用いて説明している。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育の学び方 (P2) ○運動と健康 (P20) ○特集資料 調和のとれた生活 (P26) ○心と体のかかわりとストレス (P53) ○ストレスへの対処のしかた (P54-55) ○実習 リラクゼーションの方法 (P56-57) ○特集資料 ストレスと心の健康 (P58-59) ○運動やスポーツの体と心への効果 (P65) ○特集資料 運動やスポーツによるけが (P74) ○喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処 (P95) ○けがの防止と応急手当 (P101) ○応急手当の意義と基本 (P112-113) ○心肺蘇生法の流れ (P114-115) ○実習 心肺蘇生法 (P116-117) ○実習 止血法、包帯法、固定法 (P118-119) ○特集資料 熱中症の予防と応急手当 (P181) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健で扱う「実習」について説明し、心臓マッサージのイラストを使用している。 ・運動の効果にストレス軽減があることをイラストを用いて説明している。 ・睡眠不足や空腹で体が動かずストレスを感じることを説明している。 ・ストレスについて説明し、原因や感じ方、ストレスの対処する力は人によって違うことを説明している。 ・ストレスの原因に対処する方法について説明している。 ・呼吸法、体ほぐしの運動、筋肉をリラックスさせる方法をイラストを用いて説明している。 ・ストレスのさまざまな原因をイラストを用いて説明し、そのストレスに気づくことが、対処法の第一歩だと説明するとともに、相談窓口を掲載している。 ・手軽な運動により、ストレスを軽減できること、リラックスできることを説明している。 ・RICE法の応急手当のしかたを、文章とイラストを用いて説明している。 ・ストレスへの対処法について説明している。 ・実習で身につける心肺蘇生法について、イラストを用いて説明している。 ・応急手当の意義や方法について説明している。 ・心肺蘇生法の意義や流れについて説明している。 ・胸骨圧迫、AEDの操作、気道確保と人工呼吸について、写真やイラストを用いて説明している。 ・止血法、包帯法、固定法などの、技能のポイントについて、イラストを用いて説明している。 ・熱中症の応急手当について、フローチャートを用いて説明している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな学習方法1 (P9) ○欲求不満やストレスへの対処 (P60-63) ○実習 リラクゼーションの方法 (P64) ○ストレス (P66) ○コミュニケーション (P67) ○スポーツが心身と社会性に及ぼす効果 (P74) ○RICE処置 (P82) ○応急手当の意義と基本 (P122-123) ○心肺蘇生法 (P124-126) ○きずの手当 (P128-129) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の学習方法について説明し、実習・実験の例として心肺蘇生法をイラストで示している。 ・ストレスが大きすぎたり、長く続いたりすると、心身に悪影響を及ぼすことがあることや、ストレスへの適切な対処方法について説明している。 ・ストレスの対処方法について、イラストと文章を用いて、説明している。 ・ストレスチェックの例を用いて、自身のストレスについて調べることを取り上げている。 ・コミュニケーションにより、ストレスによる心身への負担を減らすことができることをイラストと文章を用いて説明している。 ・スポーツを行うことは、精神的なストレスを解消したり、リラックスさせたりする効果があることを説明している。 ・RICE処置とテーピングについてイラストと文章を用いて説明している。 ・応急手当の意義や一般的な流れを説明している。 ・心肺蘇生の流れをフローチャートで示し、写真や文章を用いて説明している。 ・止血法、包帯法、固定法の技能について写真やイラスト、文章を用いて説明している。

「別紙2-8」 【(1)内容 j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数】(中学校 保健体育)

発行者	j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	
	取り上げている内容	具体的な学習の内容
東書	<p>○ストレスへの対処の方法 (P 49) ○がんの予防 (P 94-95) ○喫煙の害と健康 (P 96-97) ○飲酒の害と健康 (P 98-99) ○薬物乱用の害と健康 (P 100-101) ○薬物乱用の社会的な影響 (P 102-103)</p> <p>○喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処 (P 104-105) ○がんについてももっと知ろう (P 106) ○アンチ・ドーピング (P 170) ○喫煙や飲酒を勧められたら (P 191)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好ましくないストレスへの対処方法の例として、酒、たばこ、薬物などを説明している。 ・がんやがんの予防について説明している。 ・たばこに含まれる有害物質を図と文章で説明し、喫煙が人体に及ぼす影響についても説明している。 ・飲酒が人体に及ぼす影響について、図を用いて説明している。 ・有機溶剤や覚醒剤、大麻などの薬物乱用は、心身にどのような影響があるか説明している。 ・薬物乱用によって、どのような症状が現れるかを実際の証言や新聞記事を使用し説明している。また、事故の記事や想定される社会の影響についても示している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用をしないための対策について説明している。 ・がんについて、その治療法や感染、がんのたどしい情報の集め方について説明している。 ・薬物乱用としてドーピングを取り上げている。 ・喫煙や飲酒を勧められたときの断り方について考えられるようなワークシートを示している。
大日本	<p>○がんの予防 (P 74-75) ○喫煙と健康 (P 76-77) ○飲酒と健康 (P 78-79) ○薬物乱用と健康 (P 80-81) ○喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ (P 82-83) ○章末資料 (P 84-86)</p> <p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>○学びを活かそう (P 87)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの種類やがんができる仕組み、原因などの概要と、がんの予防策などについてイラストを用いて説明している。 ・喫煙による体への影響について肺がんのことに触れ、肺がん死亡率をグラフで示している。 ・飲酒における体への影響や未成年者における飲酒の害などについて、文章や図、グラフを用いて説明している。 ・薬物乱用による健康への害や社会的影響などについて文章や写真、イラストを用いて説明している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ、危険な行動を避ける力などについて文章やイラストで説明している。 ・がんの進行と自覚症状が出るまでを文章と図を用いて説明している。 ・がんを早期発見するためにポスターなどでがん検診の受診を呼び掛けていることを説明している。 ・喫煙や受動喫煙の害について、文章や写真を用いて説明している。 ・アルコールの分解について文章と図を用いて説明している。 ・薬物乱用の恐ろしさなどについて、文章や図、写真を用いて説明している。 ・がんについての学習を今後の生活に活かすため、がんについて考え、話し合い活動ができるようワークシートを示している。
大修館	<p>○健康な生活と病気の予防② (P 79) ○生活習慣病 (P 80)</p> <p>○生活習慣病の予防 (P 82-83)</p> <p>○がんとその予防 (P 84-85) ○生活習慣病・がんの早期発見とその回復 (P 86-87) ○喫煙と健康 (P 88-89) ○飲酒と健康 (P 90-91) ○薬物乱用と健康 (P 92-93) ○喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処 (P 94-95)</p> <p>○特集資料 がんの早期発見をうながす活動 がんの3つの治療法 (P 97) ○医療機関とその利用 (P 152) ○特集資料 感染とがん (P 158)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がんについて学ぶ中学校の授業として、喫煙、飲酒、がんについての写真を用いて説明している。 ・生活習慣病として、喫煙や過度の飲酒が影響していることを説明している。資料③生活のしかたからみた関連死亡者数として、グラフを用いて説明している。 ・生活習慣病の起こり方について、生活習慣病を予防する8つの健康的な生活習慣として、喫煙、過度の飲酒が影響することをイラストを用いて説明している。 ・がんの病気、種類、リスク、適切な生活習慣の実践について、説明している。 ・がんの早期発見、早期治療について、具体例をあげ、イラストや写真を用いて説明している。 ・たばこの煙には有害物質が含まれていること、周囲への悪影響や害があることを写真やグラフを用いて説明している。 ・アルコールの脳への影響、心や行動への影響、依存性、健康問題、若者特有の危険などについて、イラストや写真、グラフを用いて説明している。 ・薬物乱用による脳への影響、依存症、社会への影響について、写真やイラストを用いて説明している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけと対処について、心理的要因と社会的要因があること、それぞれの要因に適切に対処していく必要があることをイラストを用いて具体例を示し、説明している。 ・ピンクリボン運動、がん検診啓発活動について文章と写真を用いて説明している。 ・病院には、がんセンターがあることをイラストを用いて説明している。 ・「感染」が原因のがん、がんの原因とウイルスや細菌、感染は防ぐことができることについて、グラフやイラストを用いて説明している。
学研	<p>○データで見る運動、食事、休養・睡眠 (P 2)</p> <p>○健康な生活と病気の予防② (P 84) ○生活習慣病とその予防 (P 86-89) ○がんとその予防 (P 90-91) ○喫煙と健康 (P 92-93) ○飲酒と健康 (P 94-95) ○薬物乱用と健康 (P 96-97) ○喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ (P 98-99) ○たばこ・酒・薬物に手を出さないために (P 100-101)</p> <p>○がんの治療 (P 102) ○がんと共に生きる、がん患者と共に生きる (P 103) ○ドーピング (P 104)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動 (1日の歩数)と病気の予防効果についてのグラフで、がんとの関係について示している。 ・薬物乱用防止ポスター、路上喫煙禁止を示す看板、がん情報サービスウェブサイトについての写真を取り上げている。 ・生活習慣病の要因の一つに喫煙と過度の飲酒があることを説明している。 ・がんを引き起こす要因と予防の仕方について、文章や図、イラストを用いて説明している。 ・喫煙の健康への影響やまわりの人への影響を図やイラスト、文章を用いて説明している。 ・アルコールは脳や神経の働きを低下させ、思考力や自制心、運動機能を低下させることについてイラストや図、文章で説明している。 ・薬物乱用による心身への影響や社会への悪影響を、文章や図、イラストを用いて説明している。 ・個人の要因と社会的環境の要因、防止対策を写真やイラスト、文章を用いて説明している。 ・危険な心理状態になったときにどうするか、たばこ・酒の宣伝・広告をどう見るか、誘われたときにどうするかをケーススタディやイラストで示している。 ・がんの治療についてイラストや文章で説明している。 ・身近な人ががんになったとわかったときを事例として、考えさせる問いを示している。 ・ドーピングについて文章で説明している。

「別紙2-9」 【(1)内容 k 発展的な内容の扱い】(中学校 保健体育)

発行者	k 発展的な内容を取り上げている箇所数	
	取り上げている内容	具体的な学習の内容の扱い
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○アレルギー (P24) ○睡眠は、なぜ大切か (P25) ○体温測定と健康管理 (P26) ○胎児を育てる母体の神秘-胎盤とへその緒- (P50) ○性の多様性 (P51) ○活用する 防災タイムライン (P79) ○共に生きる (P80-81) ○さまざまな自然災害の危険 (P86-87) ○防災タイムライン (P88) ○がんについてもっと知ろう (P106) ○インターネットと依存症 (P107) ○スポーツも脳が行う (P119) ○熱中症の予防と手当 (P126-127) ○放射線と健康 (P136-137) ○地球温暖化による健康や安全への影響 (P138-139) ○SDGsに取り組む町 (P140) ○感染症の歴史 (P158-159) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーとその原因になるものとの関係について説明している。 ・睡眠について眠りのサイクルを図やグラフで表し、睡眠の大切さについて説明している。 ・体温測定と健康管理について、グラフやイラストを用いて説明している。 ・胎児と母体について文章と図や写真を用いて説明している。 ・生物学的な性と自分の意識が一致しない人がいることを文章やイラストを用いて説明している。 ・例示を図で示し、防災タイムラインの作成について示している。 ・災害時の心のケア、中学生や地域の役割について示している。 ・さまざまな自然災害の危険について、写真を用いて説明している。 ・防災タイムラインを用いて、雨や山の様子・警戒レベル・家庭の防災行動の一例を示している。 ・がんについて、その治療法や感染、がんの正しい情報の集め方について説明している。 ・インターネットと依存症について、中学生のインターネット利用状況と依存傾向に関する調査を用いて説明している。 ・運動の得意、不得意の違いについて触れ、スポーツには脳が関わっていること、小さな頃に経験すると良い運動について説明している。 ・図を用いて熱中症のメカニズムを示し、人体に現れる症状と手当について説明している。 ・放射線が人体に及ぼす影響について説明している。 ・地球温暖化についての説明と、地球温暖化が進んだ時に起こる健康や安全への影響について図で示している。 ・鹿児島県大崎町の取り組みを写真を用いて説明している。 ・感染症の歴史について、感染症をめぐる主な出来事を世界と日本において写真や年表を用いて説明するとともに、新たな感染症や再び流行した感染症について説明している。 ・免疫が果たす役割や仕組みについて図を用いて説明している。また予防接種の有効性について説明している。 ・薬物乱用としてドーピングを取り上げている。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネットによるコミュニケーションとトラブル (P187) ○ヘルスプロモーション (P16) ○アンガー・マネジメント (P44) ○PTSD (P46) ○脳と神経 (P50) ○マイトレーニングをつくろう！ (P68) ○インターネットを利用した犯罪 (P97) ○熱中症の予防と応急手当 (P114) ○世界の人々の健康を守る (P140) ○全ての人が健康に生活できる社会 (P145) ○食品の廃棄物 (P160) ○体温の調節 (P162) ○循環型社会の実現に向けて (P163) ○放射能と健康 (P162-163) ○気候変動への対策 (P164) ○クオリティ・オブ・ライフ (P167) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる様々なトラブルについてイラストを用いて説明している。 ・ヘルスプロモーションについての考え方を「トピックス」として示している。 ・アンガー・マネジメントについて「トピックス」として説明している。 ・PTSD (心的外傷後ストレス障害) について「トピックス」として説明している。 ・脳のつくりと役割についてイラストや図を用いて説明している。 ・習慣的、効果的に体力を高める方法についてイラストや例を挙げて示している。 ・インターネットを利用した犯罪について、総務省「インターネットトラブル事例集」(2018年度版)を用いて、説明している。 ・熱中症の予防と応急手当について、基本知識や起こりやすい条件、予防策、応急手当の流れをイラストや図を用いて説明している。 ・主にWHOが行っている取組について、「トピックス」として説明している。 ・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの意味や世界の医療サービスの現状などについて「章末資料」として説明している。 ・食品の廃棄物について「トピックス」として説明している。 ・体温の調整機能について「章末資料」としてイラストを用いて説明している。 ・循環型社会を目指す意味、仕組みなどを図を用いて説明している。 ・放射能における外部被ばく、内部被ばく、身の回りの放射被ばくについてイラストやグラフを用いて説明している。 ・気候変動の原因や、対応策、自分たちができることなどを写真や図を用いて説明している。 ・QOL (クオリティ・オブ・ライフ) の考え方について図を用いて説明している。

「別紙2-9」 【(1)内容 k 発展的な内容を取り上げている箇所数】(中学校 保健体育)

発行者	k 発展的な内容を取り上げている箇所数	
	取り上げている内容	具体的な学習の内容の扱い
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○「性」についての固定的な考え方に気づこう (P42-43) ○運動と脳 (P72) ○女性のスポーツ選手がおちりやすい3つの健康問題 ○見直そうスマホの習慣 (P96) ○がんの3つの治療 (P97) ○ネットワーク利用犯罪の危険 (P109) ○気象災害から命を守る行動 (P120) ○地震災害から命を守る行動 (P122) ○感染症との終わりなき闘い (P156) ○感染とがん (P158) ○アレルギー (P159) ○気候変動と健康 (P180) ○熱中症の予防と応急手当 (P181) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「男性・女性らしさ」、「人間の性」、「性的マイノリティ」について、図や具体例を挙げて説明している。 ・運動と脳の関わりについて、運動やスポーツが知的な能力を向上させることを説明している。 ・女子長距離選手を例に挙げ、栄養不足や休養不足が引き起こす健康問題について説明している。 ・スマホ利用時間についてや、脳への健康被害についてグラフや絵を用いながら説明している。 ・がんの3つの治療法について、図を用いながら説明している。 ・SNSの書き込みが原因で起こった犯罪例について示し、ネットワーク利用犯罪の危険について説明している。 ・気象災害について、警戒レベル別や災害別に図を用いながら説明している。 ・地震災害について、具体的な避難や対処方法などについて、イラストを用いながら説明している。また、ハザードマップについて説明し、自然災害のリスクについて説明している。 ・感染症について、過去の情報を図やグラフなどを使用し、説明している。 ・がんについて、グラフを用いながら説明している。 ・アレルギーについて、物質や症状をイラストを用いながら具体的に説明している。エピペンについても触れている。 ・気候変動について、グラフを用いて説明し、SDGsにも触れながら説明している。 ・熱中症の予防について、具体的な予防法や応急手当をフローチャートを用いて説明している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○脚注 臓器提供について (P28) ○アレルギー (P38) ○脳死と臓器移植 (P39) ○性の多様性 (P66) ○がんの治療 (P102) ○がんと共に生きる、がん患者と共に生きる (P103) ○ドーピング (P104) ○やめたくてもやめられない(行動嗜癖) (P104) ○脚注 離岸流について (P108) ○災害に備える「タイムライン」を作ってみよう (P121) ○熱中症を疑った時の対応 (P127) ○インターネットやSNSを通じた犯罪 (P130) ○津波 (P131) ○急な大雨や雷、竜巻から身を守るために (P131) ○動物由来感染症 (P165) ○ユニバーサルデザイン (P165) ○放射線と健康 (P184) ○環境問題と私たちの生活や健康 (P185) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が脳死になったとき、臓器を提供するかしないかについて話し合わせることを示している。 ・アレルギーと、その原因となるものとの関係について説明している。 ・脳死の判定を臓器抽出について、話し合うよう問いを示している。 ・性についての心の多様性について説明している。 ・がんの治療について調べる学習ができるように問いを示している。 ・がんに関わった人の気持ちを3つの事例をもとに思考できるように示している。 ・ドーピングの説明とドーピングの健康への害の例を示し、考えさせるような問いを示している。 ・行動嗜癖について、またそれに伴う問題を説明し、それらについて調べ学習ができる問いを示している。 ・離岸流について、文章で説明している。 ・災害に備えるタイムラインを示し、それを作成させる問いを示している。 ・熱中症を疑ったときの対処をフローチャートを用いて説明している。 ・インターネットやSNSを通じた事例から、それらをどのように防ぐか考えさせる問いを示している。 ・普通の波と津波の違い、津波の速さをイラストを用いて、なぜ早く逃げなければいけないのかを考えさせる問いを示している。 ・急な大雨、雷、竜巻をイラストで掲載し、それぞれの対処法を説明している。 ・主な動物由来感染症の説明を記載し、日常生活で気を付けることを説明している。 ・ユニバーサルデザインの例として写真を示し、身近なユニバーサルデザインのアイデアを作ってみることを示している。 ・東日本大震災について触れ、放射線の種類や被ばく量、放射線から身を守る方法についてイラストで示し、説明している。 ・環境問題と私たちの生活や健康について、イラストと文章で説明している。また持続可能な社会の実現のために、私たちができる取り組みや守るべき課題を説明している。

「別紙2-10」【 防災や自然災害の扱い 】（中学校 保健体育）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（掲載ページ）
東 書	<p>「テクノロジーの進化と保健体育」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】ドローンを活用した災害救助や空撮を示している。（口絵2 P3） <p>「情報の活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】災害時等の情報に関してタブレット等を活用した際の実際の写真を掲載している（口絵3 P5） <p>「傷害の防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】写真で家族が防災意識を高める様子を紹介している。（P67） <p>「自然災害による危険」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】災害の発生時や発生直後、発生後に生じる危険について説明している。（P76-77） ・【写真】倒壊した建物や地震の一次・二次災害を示している。（P76-77） <p>「自然災害による傷害の防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】災害に備えた安全対策、安全な行動等を説明している。（P78-79） ・【イラスト】自然災害への備えや知識の活用場面を示している。（P78-79） <p>「共に生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】災害時の心のケア、中学生や地域の役割について示している。（P80-81） ・【写真】避難訓練時の中学生の様子を用いて、災害時の中学生の役割を示している。（P81） <p>「さまざまな自然災害の危険」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真・図】台風・大雨、竜巻、落雷、火山噴火を写真を用いて説明している。（P86-87） <p>「防災タイムライン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【図】防災タイムラインによる警戒レベルについて図で説明している。（P88） <p>「運動やスポーツの安全な行い方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】野外活動時の注意について説明している。（P115） <p>「保健体育の職業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】気象予報士の仕事には、テレビやラジオで情報発信する際の天気予報の原稿を執筆することが紹介されている。（P121） <p>「生活に伴う廃棄物の衛生的管理」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】自然災害時の健康と個人の取り組みについての説明や東京都文京区のガイドブックの紹介をしている。（P135） <p>「巻末スキルブック」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・イラスト】地震が発生した際のとるべき行動について説明している。（P189） <p>「巻末スキルブック」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・イラスト】自然災害が発生した際のとるべき行動について説明している。（P189）
大日本	<p>「自然災害による傷害の防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】自然災害における一時災害、二次災害の危険や、自然災害への備え、発生した場合の行動について、説明している。（P98） ・【文章】「トピックス」で津波でんでんこを取り上げ、三陸地方に伝わる教訓を説明している。（P98） ・【写真】自然災害の例を示している。（P99） ・【イラスト】ハザードマップ、地震が発生したときの行動を示している。（P99） <p>「自然災害の脅威」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】地震や集中豪雨、竜巻、火山の噴火などの自然災害の脅威を示している。（P100-102） ・【イラスト】災害時など、もしものときのための行動マニュアルや非常時持出用品をイラストで示している。（P103） <p>「学びを活かそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【イラスト】避難所でできることを考え、グループで話し合い活動ができるようワークシートで示している。（P116）

「別紙2-10」【 防災や自然災害の扱い 】（中学校 保健体育）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(掲載ページ)
大修館	<p>「共生社会をつくるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・写真】熊本地震の学校支援チームや募金活動をする中学生ボランティアを示している。(口絵5) 「特集資料 野外スポーツの危険と対策」 ・【文章・イラスト】山、海、川での自然災害による危険と対策を説明している。(P75) 「けがの防止と応急手当」 ・【写真】防災訓練の様子を写真を用いて示している。(P101) ・【写真】洪水から人々を守る地下放水路を示している。(P101) ・【写真】自然災害の教訓を後世に伝える自然災害伝承碑を示している。(P101) 「自然災害によるけがの防止」 ・【文章】地震災害と二次災害、気象災害と火山災害、災害時の安全確保、地震災害によるけがへの対策、災害情報などについて説明している。(P110-111) ・【写真】地震による建物の倒壊、二次災害(津波、土砂災害)、火山の噴火、安全確保の原則、広域避難場所の標識、津波避難場所の標識、家具に関する地震対策について示している。(P110-111) 「特集資料 気象災害から命を守る行動」 ・【文章・写真・イラスト】大雨、台風での警戒レベルの内容や竜巻、雷、大雪の避難方法を説明している。(P120-121) 「特集資料 地震災害から命を守る行動」 ・【文章・イラスト】自宅、外出中、海や川付近などの注意事項が記載され、家族と集合連絡、安全な避難経路、水・食料の備蓄について説明している。(P122) ・【文章・イラスト】洪水・地震のハザードマップが示され、地域の自然災害リスクについて説明している。(P123) 「災害と環境」 ・【文章】災害による環境の悪化、環境の悪化と健康、公共機関からの情報の活用、SNS情報の活用と危険性について、説明している。(P176-177) ・【写真】豪雨による被害を示している。(P176-177) ・【グラフ】仮設トイレが避難所にいきわたるまでの日数を示している。(P176-177) ・【イラスト】被災地での主な健康問題とその対策について説明している。(P176-177)
学 研	<p>「関わり合って生きる私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】地域での防災訓練の様子を写真で示している。(P5) 「行って、見て、学ぼう」 ・【写真】防災を学べる施設について、写真で紹介している。(P7) 「体力の必要性 災害から生命を守る」 ・【文章・イラスト】災害時の避難の際に必要な体力や、避難生活が長引いたとき、避難所でできる運動の例を説明している。(P80) 「傷害の防止」 ・【イラスト】南海トラフ巨大地震の想定や発生の可能性、想定される津波の最大の高さを示している。(P106) ・【写真】土砂災害ハザードマップ、高潮ハザードマップ、AED設置場所の情報の写真を示している。(P106) 「自然災害に備えて」 ・【文章・写真】自然災害の例や様々な災害情報、一次災害、二次災害について説明している。(P116-117) 「自然災害から身を守るために① 地震・火山噴火」 ・【写真】地震、火山噴火について過去に起こった時の写真を掲載している。(P118-119) 「自然災害から身を守るために② 台風・大雨、大雪、竜巻」 ・【文章・イラスト・写真】台風・大雨、大雪、竜巻について過去に起こった時の写真を掲載している。また、災害に備えるタイムライン、避難するときの注意、日常からの備えについてイラストと文章を用いて説明している。(P120-121) 「探究しようよ！」 ・【イラスト】普通の波と津波の違いを示し、なぜ早く逃げなければいけないのか考えさせる問いを示している。また、急な大雨、雷、竜巻を掲載し、それぞれの対処法を説明している。(P131)

「別紙2-11」 【 障害者理解に関する扱い 】 (中学校 保健体育)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(掲載ページ)
東 書	<p>「運動やスポーツの必要性和楽しさ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】年齢や暮らし方に応じて、また、障害の有無を超えて、誰もが生涯にわたって気軽に取り組めるスポーツが盛んに行われていることを説明している。(P57) ・【写真】障害の有無を超えて取り組めるスポーツの様子が示されている。(P57) <p>「運動やスポーツへの多様な関わり方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】「支えること」ではスポーツ大会を運営する関係者以外に、障害者の支援などを行うボランティアの協力がなければならないことを説明している。(P59) <p>「私とスポーツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】障害者スポーツ指導員のコメントが掲載されるとともに、活動の様子が写真で示されている。(P63) <p>「運動やスポーツの用具や技術の変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】陸上競技用車いすの変化の様子が写真やコメントで示されている。(P64) <p>「傷害の防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】アイメイト協会歩行指導員の活動の様子やその説明が写真とともに示されている。(P67) <p>「交通事故の危険予測と回避」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】安全な街づくりの視点から、幼児や高齢者、障害者をはじめ、全ての人が安心して通行できるように、バリアフリーに配慮した交通環境の整備が進められています。(P73) <p>「運動やスポーツの効果」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】体力や技能、年齢や性別、障害の有無などのさまざまな違いを超えて尊重し合うことが社会性の発達につながると説明している。(P111) <p>「文化としてのスポーツの意義」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】車いすを利用している障害者と健常者が交流している様子が示されている。(P161) <p>「人々を結び付けるスポーツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】スポーツは、民族や国、人種や性、障害の有無、年齢や地域、風土などさまざまな違いを超えた人々の結びつきを生み出していることを説明している。(P166) ・【文章】違いを超えるスポーツの紹介で、障害の有無による差を無くすための用具の工夫が説明されている。(P167) ・【写真】障害の有無を超えてポッチャを楽しむ様子が示されている。(P167) <p>「オリンピック・パラリンピック」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・写真】パラリンピックの成り立ちについて説明されている。(P168-169)
大日本	<p>「スポーツはみんなができる、みんなをつなげる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】視覚障害者マラソンの様子が写真で示されている。(口絵6) <p>「オリンピック・パラリンピック」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】パラリンピック競技の様子が写真で示されている。(口絵8) <p>「世界で活躍する人々を支える健康」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】パラリンピック陸上競技選手の写真が紹介されている。(口絵10) <p>「オリンピック・パラリンピックについて知ろう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】知的障害のある人たちが参加するスペシャルオリムピックスについて、ミニ知識で説明されている。(P124) <p>「人々を結び付けるスポーツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・写真】アダプテッド・スポーツについて文章で説明されている。(P126) ・【文章・写真】障害の有無を超えて親しまれる車いすダンス大会の写真が紹介されている。(P127) <p>「学びを活かそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無などの違いを超えて、誰でも参加できる競技やルールを考えさせるワークが示されている。(P128)

「別紙2-11」【 障害者理解に関する扱い 】（中学校 保健体育）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(掲載ページ)
大修館	<p>「共生社会をつくるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・写真】障害(ダウン症)をもつ書道家親子の活動を紹介し、書の方で人々を勇気づけている様子を示している。(口絵6) 「運動やスポーツの多様な楽しみ方」 ・【文章】豊かなスポーツライフ実現のために、中学生の今から障害の有無を超えて運動やスポーツを楽しむために必要な能力を高めることが大切だと説明している。(P11) 「特集資料 スポーツの新しい楽しみ方」 ・【文章・写真】ゆるいスポーツについて紹介し、障害の有無に関係なく一緒にスポーツを楽しむ姿を示している。(P13) 「健康の成り立ち」 ・【文章・イラスト】車いすバスケットボールの様子や「病気や障害があっても、充実した人生を送っていたら健康だと思ふな。」の吹き出しコメントを示し、障害の有無はスポーツには関係ないことを示している。(P18) 「特集資料 国際的なスポーツ大会」 ・【文章・写真】スペシャルオリンピックスやデフリンピックについて紹介し、様々な障害者スポーツの国際大会が開かれていることを示している。(P133) 「人びとを結ぶスポーツ」 ・【文章】スポーツには、障害の有無に関係なくプレイできるものがあることを説明している。(P135)
学 研	<p>「スポーツには、世界を変える力がある」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】視覚障害者ランナーの写真を示している。(P1) 「スポーツへの多様な関わり方」 ・【文章・写真】障害のある人がスポーツに参加できるように支援や補助することが重要であることを説明している。(P19) 「探究しようよ！」 ・【写真・文章】車いすバスケットの車いすの機能や構造について説明している。(P23) 「探究しようよ！」 ・【写真・文章】ルールや用具、補助などで障害者や高齢者などにも適合したアダプテッド・スポーツについて説明している。(P23) 「スポーツが心身と社会性に及ぼす効果」 ・【文章】障害の有無などの違いを超えてスポーツを行う、社会性が求められていることについて説明している。(P75) 「スポーツの文化的意義」 ・【文章】スポーツは、国や人種、性別、障害の有無などにかかわらず、生涯にわたって楽しむことができる文化であると説明している。(P139) 「スポーツの文化的意義」 ・【イラスト】スポーツは、障害の有無に関わらず誰でもアクセスできることをイラストを用いて示している。(P139) 「国際的なスポーツ大会とその役割」 ・【イラスト】競技者による訪問や指導の中で、車いすバスケの選手のイラストを用いて国際的なスポーツ大会での交流や活動について示している。(P141) 「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章・イラスト】スポーツは、様々な違いを超えて誰もが味わうことができることについて説明している。(P143) 「人々を結び付けるスポーツ」 ・【コラム】スポーツから生まれるつながりの一つに、義足を作る人を写真を用いて示している。(P143) 「探究しようよ！」 ・【文章・イラスト・写真】パラリンピックの歴史や価値、日本の歴史等について示している。(P144-147) 「保健体育の学習の終わりに」 ・【文章】バリアフリーやユニバーサルデザインなど、年齢や障害の有無等の違いにかかわらず、誰もが健康・安全で快適な生活を送ることができる取り組みが進められていることを説明している。(P188)

「別紙2-12」 【性差と家族についての扱い】 (中学校 保健体育)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
東 書	<p>「保健体育の学習方法」 ・【イラスト】男女が協力して学習している様子を示している。(P10-11)</p> <p>「性に関する適切な態度や行動の選択」 ・【文章】心や体は人それぞれ違って多様であることを理解し、互いを尊重し合うことが大切であると説明している。(P36)</p> <p>「胎児を育てる母体の神秘」 ・【写真】母親の出産前の家族写真と、出産直後の家族の関りの写真を示している。(P50)</p> <p>「性の多様性」 ・【イラスト】性の構成要素について示している。(P51)</p> <p>「運動やスポーツの多様な楽しみ方」 ・【写真】男女と一緒にスポーツを取り組んでいる様子が示されている。(P60) ・【文章】生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るためには、目的や年齢、性などの違いを超えて、一緒に運動やスポーツを楽しむ能力を高めておくことが大切であると説明している。(P60)</p> <p>「運動やスポーツの用具や技術の変化」 ・【写真】卓球の男女混合ダブルスの様子が示されている。(P64)</p> <p>「傷害の防止」 ・【写真】写真で家族が防災意識を高める様子を示している。(P67)</p> <p>「共に生きる」 ・【写真】地域の高齢者を訪問する男女の中学生の様子が示されている。(P81)</p> <p>「運動やスポーツの効果」 ・【文章】体力や技能、年齢や性別、障害の有無など、個人の様々な違いを超えてルールやマナーに対する合意を形成し、それらを尊重することは、社会性の発達につながることを説明している。(P111) ・【イラスト】資料3で社会性の例として、男女がチームメイトで教え合う姿を示している。(P111)</p> <p>「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章】ルールによって男女同数が決められているスポーツや、障害の有無による差をなくすための用具の工夫などがあることを説明している。(P167) ・【写真】男女混合チームのコーフボールの様子が示されている。(P167)</p>
大日本	<p>「スポーツはみんなができる、みんなをつなげる」 ・【写真】年齢や性別を超えて共に運動やスポーツを楽しむことを、示している。(口絵6)</p> <p>「運動やスポーツの必要性と楽しさ」 ・【イラスト】男女でバレーボールで交流する場面を示している。(P5)</p> <p>「心身の発達と心の健康」 ・【写真】章扉に男女が協力して学習したり、体育祭で円陣を組んだりする様子を示している。(P29)</p> <p>「思春期の心の変化への対応」 ・【文章】お互いの性に対する意識や行動の違いを理解し、互いが高め合える人間関係を築いていくことがとても大切だと説明している。(P38) ・【トピックス】性別に関わりなく、個性を尊重できる社会の実現に取り組むことが大切と説明している。(P38)</p> <p>「人との関わりと自分らしさ」 ・【文章】中学生の時期は、家族や友達との社会性がより一層発達すると説明している。(P42-43)</p> <p>「学びを活かそう」 ・【ワークシート】友達やクラスメートが困ったり悩んだりしているときにアドバイスをしようという発問で、Gさんが母親に反抗してしまったという事例がワークシートで示されている。(P52)</p> <p>「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」 ・【イラスト】男女が協力して、教え合ったり、学び合ったりする姿を示している。(P62-68)</p> <p>「自然災害の脅威」 ・【イラスト】災害発生時を想定し、日頃から備えておくことについて家の人と一緒に確認することを説明している。(P103)</p> <p>「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章・写真】スポーツは、民族や国、人種や性別、障害の有無、年齢、<中略>文化的な動きをもっていることを説明している。(P126-127)</p> <p>「学びを活かそう」 ・【ワークシート】年齢、性別、障害の有無などの違いを超えて、誰でも競技に参加できるような地域の運動会を企画するためのワークシートを示している。(P128)</p>

「別紙2-12」 【性差と家族についての扱い】 (中学校 保健体育)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
大修館	<p>「私たちの成長と運動やスポーツの広がり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】男女で選手宣誓している姿を示している。(口絵3) 「共生社会をつくるために」 ・【文章・写真】サッカー審判員の山下さんを紹介し、女性も男性の試合で審判ができることを説明している。(口絵6) 「よりよい未来に向けて」 ・【写真】男女で一緒に走っている姿を示している。(口絵8) 「保健体育の学び方」 ・【写真】男女で協力して、ブレインストーミング、ディスカッション、インタビューなどに取り組んでいる姿を示している。(P2) 「運動やスポーツへのかかわり方」 ・【写真】運動会でのかかわり方について、男女が協力して取り組む姿を示している。(P9) 「運動やスポーツの多様な楽しみ方」 ・【イラスト】男女で話し合いをする様子を示している。(P10-11) ・【文章】豊かなスポーツライフを実現するために、中学生の今から、性の違いを超えて運動やスポーツを楽しむために必要な能力を高めることが大切であることを説明している。(P11) 「特集資料 スポーツの新しい楽しみ方」 ・【文章・写真】イモムシラグビーは性別に関係なく全員が一緒に楽しめることを示している。(P13) 「健康な生活と病気の予防①」 ・【写真】男女で一緒にランニングする姿を示している。(P17) 「性への関心と性情報への対処」 ・【文章】性差を理解し、互いに尊重し、高め合える関係をつくるのが大切であると説明している。(P40) 「特集資料 「性」についての固定的な考え方に気づこう」 ・【文章】「男性らしさ・女性らしさ」「人間の性」「性的マイノリティ」などについて、説明している。(P42-43) 「知的機能・情意機能の発達」 ・【イラスト】田舎の祖父母の家に行く様子を示している。(P45) 「特集資料 ストレスと心の健康」 ・【文章・写真】タレントのはるな愛さんのコラムを紹介し、性への理解を説明している。(P59) 「運動やスポーツの体と心への効果」 ・【写真】男女で協力してバスケットボールに取り組む姿を示している。(P65) 「運動やスポーツの学び方」 ・【写真】柔道の効果的な学びについて、男女が協力して学習に取り組んでいる姿を示している。(P69) 「けがの防止と応急手当」 ・【写真】男女で協力して、心臓マッサージをする姿を示している。(P101) 「人びとを結ぶスポーツ」 ・【写真】年齢や性の違いをこえて楽しめるグラウンド・ゴルフについて示している。(P135)
学 研	<p>「さまざまな学習方法1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【イラスト】男女が協力してブレインストーミングを行っていることを示している。(P9) 「よりよく生きる よりよく生きる世界をつくる」 ・【写真】男女が協力して学習している様子を写真で示している。(P12) 「スポーツの始まりと発展」 ・【文章・イラスト】家族と週末にジョギングを始めたことを示している。(P17) 「休養・睡眠と健康」 ・【イラスト】男女が協力して話し合い活動をしていることを示している。(P35) 「調和のとれた生活」 ・【文章・イラスト】お母さんと一緒に朝、ウォーキングをしようとしていることを示している。(P36) 「性はどう向き合うか」 ・【文章】性差について正しく理解し、互いを尊重した関係を築くことを説明している。(P52) 「スポーツが心身と社会性に及ぼす効果」 ・【文章】仲間の体力技能の程度に、年齢や性別を超えて人間関係を築いたりするなどの社会性が求められることを説明している。(P75) 「スポーツの学び方」 ・【イラスト】男女が協力して作成会議をしていることを示している。(P76) 「探求しようよ！」 ・【文章・イラスト】がんであることがわかり、それを中学生になる自分の子供に言うべきか悩んでいることを示している。(P103) 「自然災害に備えて」 ・【イラスト】家族で避難する場所や危険な場所を話し合っている姿を示している。(P116) 「スポーツの文化的意義」 ・【文章】スポーツは、性別などに関わらず、生涯にわたって楽しむことができることを説明している。(P139) 「国際的なスポーツ大会とその役割」 ・【イラスト】男女のグループが協力して学習している姿を示している。(P141) 「人々が結び付けるスポーツ」 ・【文章】民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、障害の有無といった違いを超えて、誰もが共通の経験を味わうことができることを説明している。(P143) 「探求しようよ！」 ・【文章・イラスト】エクササイズで、月に1度家の人みんなで2時間早く寝ることを紹介している。(P185)

「別紙2-13」【 オリンピック・パラリンピックの扱い 】（中学校 保健体育）

発行者	「単元名又は教材名」【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
東 書	<p>「運動やスポーツの必要性和楽しさ」 ・【文書】スポーツの意味の広がりの中で、今日のオリンピック大会やパラリンピック大会、世界選手権大会などに代表される「競技スポーツ」に発展してきたことを説明している。(P57)</p> <p>「私とスポーツ」 ・【写真・文書】テコンドー選手 鈴木セルヒオ選手の体験を紹介している。(P63)</p> <p>「文化としてのスポーツの意義」 ・【写真・文書】プロ車いす陸上競技選手 佐藤友祈選手の体験を紹介している。(P161)</p> <p>「国際的なスポーツ大会の役割」 ・【文書】資料1でオリンピズムの根本原則の紹介や、ユースオリンピックの説明をしている。(P164) ・【文章】国際親善と世界平和の中で、「オリンピック停戦」についての説明をしている。(P165)</p> <p>「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章】オリンピック・パラリンピックでは、出場国や男女混合種目の増加していることを説明している(P166)</p> <p>「オリンピック・パラリンピック」 ・【写真】「章末資料」にてオリンピック・パラリンピックの歴史に触れ、参加選手数の推移や大会の様子を写真で示している。(P168-169)</p>
大日本	<p>「スポーツは世界の言葉」 ・【写真】オリンピック・パラリンピック競技大会の様子を示している。(口絵P3-4)</p> <p>「スポーツはみんなができる、みんなをつなげる」 ・【写真】パラリンピック競技大会の様子を示している。(口絵P6)</p> <p>「オリンピック・パラリンピック」 ・【写真】オリンピック・パラリンピックの歴史や活躍した日本人などを説明している。(口絵P7-8)</p> <p>「世界で活躍する人々を支える健康」 ・【写真・文章】オリンピック・パラリンピアンが健康に過ごすために気をつけていることをインタビュー形式で示している。(口絵P9-10)</p> <p>「私たちの生活とスマートフォン」 ・【写真】東京オリンピック・パラリンピック大会でのメダルが情報機器や小型家電などから回収された金属によりつくられていることを説明している。(口絵14)</p> <p>「運動やスポーツへの多様な関わり方」 ・【文章】オリンピック・パラリンピックでの関わり方について、振り返ってみましょうと、教科書下部に発問として示している。(P6)</p> <p>「運動やスポーツの多様な楽しみ方」 ・【文章】「トピックス」にて2018年冬季オリンピックでの健闘をたたえ合う日本と韓国の選手の様子を紹介している。(P8)</p> <p>「運動やスポーツの移り変わり」 ・【写真】中学校で学ぶ運動についての歴史や成り立ちに触れ、オリンピック競技大会での様子を章末資料として示している。(P10-11)</p> <p>「学びを活かそう」 ・【ワークシート】2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を振り返るようにしている。(P13)</p> <p>「文化としてのスポーツの意義」 ・【写真】オリンピック・パラリンピックの開閉会式の様子を示している。(P119)</p> <p>「スポーツの文化的意義」 ・【イラスト】第2期スポーツ基本計画の一つで、オリンピック・パラリンピックに関する政策目標を資料で示している。(P121)</p> <p>「国際的なスポーツ大会の文化的な役割」 ・【文章】オリンピズム、オリンピックとパラリンピックの価値について、説明している。(P122) ・【イラスト・写真】オリンピック憲章根本原則、オリンピック・パラリンピックの価値、国際的なスポーツ大会の例を示している(P123)</p> <p>「オリンピック・パラリンピックについて知ろう！」 ・【文章】オリンピック・パラリンピックについての歴史や参加国、参加者数の推移などについて資料を用いて説明している。(P124-125)</p> <p>「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章】近代オリンピックが開催された4月6日を開発と平和のためのスポーツの国際デーとしたことを、説明している。(P126)</p> <p>「オリンピック・パラリンピックエピソード」 ・【文章】オリンピック・パラリンピックにまつわるエピソードを資料を用いて説明している。(P130)</p>

「別紙2-13」【 オリンピック・パラリンピックの扱い 】（中学校 保健体育）

発行者	「単元名又は教材名」【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
大修館	<p>「世界中から選手や観客がつどう国際的なスポーツ大会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】国際的なスポーツ大会として、オリンピック・パラリンピック選手たちの様子を示している。(口絵1-2) 「運動やスポーツの効果・学び方・安全」 ・【写真】パラリンピック種目のウェルチェアアーグビーの様子を示している。(P63) 「文化としてのスポーツ」 ・【写真】五輪のオブジェ、東京オリンピックのスケボー、サポートスタッフ、観客同士の交流、選手入場の姿や様子が示されている。(P127) 「現代生活におけるスポーツの意義」 ・【文章・写真】元リーガーの車いすバスケットボールでパラリンピックへの挑戦事例を示している。(P128) 「国際的なスポーツ大会の意義と役割」 ・【文章】オリンピック・パラリンピックの目的の一つである、世界平和や国際親善の意味合いについて説明している。(P130) ・【文章・写真】平和を願う折り鶴、選手と開催地の人びととの交流する姿を示している。(P130) ・【文章・写真】コラムとして、オリンピックの父クーベルタンと嘉納治五郎、国際オリンピック委員会、オリンピック競技大会に初参加した日本選手団について記載している。(P131) 「特集資料 国際的なスポーツ大会」 ・【文章・写真】オリンピック・パラリンピックの始まり、発展、日本との関係などを説明している。(P132-133) ・【文章・写真】コラムとして、オリンピックに採用されていない競技種目のワールドゲームズ、障害者スポーツの国際大会について説明している。(P132-133) 「人びとを結ぶスポーツ」 ・【写真】声援を送る観客たち、世界中から集まった選手たち、スポーツを通じた国際交流の様子について示している。(P134) ・【文章・写真】コラムとして、パラリンピック種目のボッチャについて説明している。(P135)
学研	<p>「行って、見て、学ぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】オリンピックミュージアムについて写真で紹介している。(P7) 「スポーツの多様な楽しみ方」 ・【コラム】「挑戦をたたえ合うライバル」でオリンピック・パラリンピック大会のスケートボード競技から、スポーツの楽しさや価値について紹介している。(P20) 「探究しようよ！スポーツを知る」 ・【文章・写真】パラリンピック東京2020大会での車いすバスケットボールを紹介している。(P23) 「文化としてのスポーツ」 ・【文章・写真】オリンピック東京2020大会での開会式を取り上げ、オリンピック憲章について説明している。(P136) ・【文章】嘉納治五郎の紹介を通じて、国際オリンピック委員会について紹介している。(P137) 「国際的なスポーツ大会とその役割」 ・【文章・写真・コラム・資料】国際的なスポーツ大会として、オリンピック・パラリンピックを取り上げて、説明している。また、オリンピズムやオリンピック休戦についても紹介している。(P140) 「探究しようよ！オリンピック・パラリンピック」 ・【文章・写真・イラスト】Q&A形式でオリンピック・パラリンピックに関する内容を取り上げている。(P144-145) 「探究しようよ！日本とオリンピック・パラリンピック」 ・【文章・写真】日本のオリンピック・パラリンピックの歴史を時系列に沿って、当時の写真を用いて示している。(P146-147) 「探究しようよ！国際的なスポーツ大会の遺産」 ・【文章・写真】オリンピックレガシーについて写真を用いて説明している。(P148)

「別紙2-14」【 固定的な性別役割分担意識に関する記述等 】（中学校 保健体育）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
東書	記載なし
大日本	記載なし

「別紙2-14」【 固定的な性別役割分担意識に関する記述等 】（中学校 保健体育）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
大修館	<p>「性への関心と性情報への対処」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】男性はたくましさ、女性はかわいい、献身的などの固定観念が社会にみられること、それに合わせて自他を傷つけていることを説明している。(P40) 「特集資料「性」についての固定的な考え方に気づこう」 ・【文章・イラスト】男性らしさ・女性らしさとは何かを、説明している。(P42)
学研	記載なし

「別紙3」 【(2) 構成上の工夫】 (中学校 保健体育)

項目 発行者	ア 口絵	イ 章扉・章末	ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫		エ ユニバーサルデザインの視点	オ デジタルコンテンツの扱い	カ その他
			読みのもの	教科書の使い方 (冊子のつくり・教材配列等)			
東書	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの未来とSDGs テカ/ロジの進化と保健体育 情報の活用一命を守るために この教科書の使い方 Dマークコンテンツを使ってみよう 保健体育の学習方法 	<ul style="list-style-type: none"> 章扉は、各章の学習に関連する小学校や高校の学習内容を示している。 章扉は、この章で学習する内容を示している。 章扉は、各章の学習に関連する写真を用いている。 章扉は、道徳の関連項目を示している。 章扉は、各章の学習に関連する「保健体育の職業」を取り上げている。 章末は、「章末資料」があり、各章の学習に関連した資料を取り上げている。 章末は、「学習のまとめ」があり、「キーワード」「章末問題」「日常生活に生かそう」「SDGsについて」の項目に分け、各単元の学習の振り返りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 骨の基礎は思春期につくられる (P29) ホルモンの働き (P33) 自己形成を助けるのは (P41) 自転車の運転者も加害者になる (P72) 防災を通して深める地域のきずな (P81) メタボ健診 (P93) 高山病 (P122) 一酸化炭素中毒 (P131) レジ袋の有料化 (P133) 風評被害 (P137) インフルエンザにかかったら (P143) 流行が再拡大する梅毒 (P147) 世界と日本のHIV/エイズ状況 (P149) 救急車、本当に必要ですか (P153) 保健センターと保健指導 (P155) ボランティアで地域住民と交流 (P163) 南スーダン選手団の受け入れ (P164) 	<ul style="list-style-type: none"> 章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 「1時間の学習の主な流れ」は、「みつける」→「学習課題」→「課題の解決(発問、資料、本文)」→「活用する」→「広げる」と進めていくことを示している。 その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「スキル」「発展」「読み物」「Dマークコンテンツ」「検索ワード」「二次元コード」が示されている。 学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」「全ての生徒の色覚特性に適用するようにデザインしています」等の工夫や配慮が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「D」マークのあるところに、学習を広げるデジタルコンテンツを用意しています」と示している。 学習内容に関するデジタルコンテンツが示されている。 「新編 新しい保健体育で使用するDマークコンテンツの種類」「授業で使ってみよう」「学習のまとめに使ってみよう」のそれぞれの視点に立ったデジタルコンテンツの活用方法が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの観点から、口絵「私たちの未来とSDGs」にて写真と文章を用いて説明している。 「他教科リンク」のマークを用いて、他教科や保健分野と体育分野との関連を示している。 巻末スキルブックにて、健康や安全に関する20のスキルをまとめて示している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> 生きがいのある豊かな生活を! スポーツは世界の言葉 スポーツはみんなができる、みんなをつなげる オリンピック・パラリンピック 世界で活躍する人々を支える健康 私たちの健康を支える食事 私たちの生活とスマートフォン この教科書の使い方 1時間の学習の主な流れ 内臓諸器官と呼吸器官 骨格と筋肉 	<ul style="list-style-type: none"> 章扉は、各章の学習に関連する小学校や高校の学習内容を示している。 章扉は、この章で学習する内容を示している。 章扉は、各章の学習に関連する写真を用いている。 章末は、「章末資料」があり、各章の学習に関連した資料を取り上げている。 章末は、「学びを活かそう」があり、意見を記入できるように示している。 章末は、学習のまとめがあり、各単元の学習の振り返りができる。 章末は「学習のまとめ」として各単元の「重要な言葉」が一覧となっている。また、WEB上に「まとめの問題」があり、単元の復習ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「スポーツの意味 (P4) 」 「テレビでのスポーツ観戦 (P6) 」 「健闘をたたえ合う (P8) 」 「ヘルスプロモーション (P16) 」 「体づくり運動 (P18) 」 「和食 (P20) 」 「睡眠と生活のリズム (P22) 」 「調和のとれた生活と風邪のひきやすさ (P24) 」 「朝と夜の体の大きさ (P30) 」 「なぜ酸素が必要なのか (P32) 」 「ホルモンの作用 (P34) 」 「卵子の数・精子の数 (P36) 」 「個性や能力を大切に (P38) 」 「夢をかなえるために (P40) 」 「自分らしさと職業 (P42) 」 「アンダー・マネジメント (P44) 」 「PTSD (心的外傷後ストレス障害) (P46) 」 「笑いの健康効果 (P48) 」 「骨密度の増加・減少と骨粗鬆症 (P56) 」 「「技術」と「技能」の関係 (P58) 」 「スポーツ障害 (P60) 」 「メタボリックシンドローム (P72) 」 「がんの治療法の選択 (P74) 」 「受動喫煙防止対策 (P76) 」 「アルコール・ハラスメント (P78) 」 「危険ドラッグ (P80) 」 「未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ (P82) 」 「ヒヤリハット (P90) 」 「ヘルメットの着用 (P92) 」 「子ども110番の家 (P96) 」 「津波でんてんこ (P98) 」 「救急車利用のマナー (P104) 」 「AED (自動体外式除細動器) (P106) 」 「命に関わる大出血 (P110) 」 「よくあるけが (P112) 」 「スポーツの文化的意義 (P120) 」 「ユースオリンピック (P122) 」 「アダプテッド・スポーツ (P126) 」 「新型インフルエンザなどの新しい感染症 (P132) 」 「学校感染症 (P134) 」 「性感染症に対応するためのさまざまな機関 (P136) 」 「世界エイズデー (P138) 」 「世界の人々の健康を守る (P140) 」 「サプリメントやトクホについて正しく理解しよう (P142) 」 「高地トレーニングの効果 (P150) 」 「冷房による体の不調 (P152) 」 「放射能の健康への影響 (P154) 」 「体内の水分量 (P156) 」 「災害時の情報の活用 (P158) 」 「食品の廃棄物 (P160) 」 	<ul style="list-style-type: none"> 章の構成は「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 教科書に使われているマークとして、「資料」「トピックス」「ミニ知識」「注意」「リンク:他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と記載している。 監修のページに「カラーユニバーサルデザイン」を採用したことを記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「WEB」、「二次元コード」は大日本図書「ウェブサイトにあたる動画や資料を使って学習することができる。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の観点から、口絵「世界で活躍する人々を支える健康」にて、写真と文章を用いて紹介している。 「他教科」「リンク」マークを用いて、他教科や保健分野と体育分野との関連を示している。 「家」「地域」マークを用いて、家や地域で取り組みたい活動を示している。

「別紙3」 【(2)構成上の工夫】 (中学校 保健体育)

項目	ア 口絵	イ 章扉・章末	ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫		エ ユニバーサルデザインの視点	オ デジタルコンテンツの扱い	カ その他
			読みのもの	教科書の使い方 (冊子のつくり・教材配列等)			
発行者							
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ・世界中から選手や観客がつどい国際的なスポーツ大会 ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共生社会をつくるために ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・体つくりと働き 内臓 ・体つくりと働き 神経系、内分泌系 ・体つくりと働き 骨格系、筋肉系 	<ul style="list-style-type: none"> ・章扉は、各章の学習に関連する小学校で学習したこと、この章で学習すること、高校で学習することなど、学習内容を系統立てて示している。 ・章扉は、各章の学習に関連するイラストや写真を用いている。 ・章末資料に、「特集資料」があり、各章の学習に関連したさまざまな情報をまとめ、興味や関心に応じて学習できるようにしている。 ・章末は、「章のまとめ」があり、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、その章の学習をまとめることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【事例】 ・運動会でのかわり方 (P9) ・身近に迫る薬物の危険 (P93) ・「ながらスマホ」に注意 (P104) ・元Jリーガーの挑戦 (P128) 【コラム】 ・車いすの天才科学者 (P18) ・スマホと疲労 (P24) ・赤ちゃんの顔はどっち? (P33) ・心拍数の正しいはかり方 (P35) ・月経の個人差 (P37) ・自画撮り被害 (P41) ・制服デザイナーに聞く「性の多様性」 (P43) ・「脳の発達＝神経回路が複雑になる」だけではない (P44) ・藤井聡太さんの自己形成 (P49) ・承認欲求とSNS (P50) ・自律神経の働き (P52) ・中学生期に高まりやすい体力 (P64) ・むし歯と歯周病 (P80) ・がん経験者のことば (P87) ・主流煙と副流煙 (P89) ・大麻は危険! (P92) ・ヘルメットは命を守る (P106) ・緊急地震速報の活用 (P111) ・親子で救命リレー (P112) ・ASUKAモデル (P115) ・胸骨圧迫はここに注意しよう (P116) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎 (P131) ・オリンピックに採用されていない競技種目の国際的なスポーツ大会「ワールドゲームズ」 (P132) ・さまざまな障害者スポーツの国際大会 (P133) ・みんなで楽しむポッチャ (P135) ・結核の予防と抵抗力 (P143) ・マスクはなぜつける? (P145) ・ふたたび増加している性感染症「梅毒」 (P147) ・エイズに対するさまざまな取り組み (P149) ・人びとの健康を支える保健所・保健センターの活動 (P151) ・気象情報が提供されるまで (P166) ・熱中症のリスクを調べよう (P167) ・ブルーライトに注意 (P169) ・空気汚染のいまとむかし (P171) ・日本で最初に敷かれた水道 (P173) ・復活した多摩川のアユ (P174) ・SNS情報の正確性を判断できるかな? (P177) 【体育の窓】 ・スポーツ選手と食事 (P23) ・薬物乱用とドーピング行為 (P95) ・ゴールの転倒事故を防ぐ (P103) 【Q&A健康相談コーナー】 (P39) 	<ul style="list-style-type: none"> ・この教科書は【つかむ(章とひら、課題をつかむ、きょうの学習)→身につける・考える(文章、資料、コラム、事例、実習、保健の窓、体育の窓)】→【まとめ】・振り返る(学習のまとめ、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙に「カラーユニバーサルデザインに配慮しています。」「見やすく読みまちはえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。」と記載している。 ・資料・事例・コラムなどの本文以外の部分を枠で囲い、見やすく整理されている。 ・ページごとに写真やイラストが必ず掲載されており、本文のイメージがよりしやすく工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「動画コンテンツ」として、教科書の資料への理解を深められる。 ・「Web保健情報館」として、調べ学習に役立つサイトを示している。 ・「Webワークシート」として、自分の考えを伝えたり、仲間の考えに触れたりできる。 ・「保体クイズ」として、Webで学習した内容を振り返り確認できるようにしている。 ・上記すべてにQRコードの記載があり、タブレットなどですばやくアクセスできるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「関連」「他教科」マークを用いて、保健分野と体育分野や他教科との関連を示している。 ・キャリア教育の観点から「職業としてのスポーツへのかかり方」を取り上げ、様々な職業を示している。 ・「章のまとめ」として、3観点すべてを一度に評価できるようにしている。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツには世界を変える力がある ・データで見る 運動、食事、休養・睡眠 ・関わり合って生きる私たち ・行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法 ・保健体育を楽しく学ぼう ・“よりよく生きる” ・“よりよく生きる世界をつくる” ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨 	<ul style="list-style-type: none"> ・章扉は、各章の学習に関連する小学校、高等学校の学習内容を示している。 ・章扉は、この章で学習する内容を示している。 ・章扉は、この章で学習する内容に関する写真を用いている。 ・章扉は、各章の学習に関する「ひと・もの・こと」を取り上げている。 ・章末は、「探究しようよ!」があり、各章の学習に関連した資料を取り上げている。 ・章末は、「章のまとめ」があり、「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」「生活への活用」の項目に分け、各単元の学習の振り返りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挑戦をたえ合うライバル (P20) ・睡眠を科学する (P35) ・コンピューターやスマートフォンなどと健康 (P35) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳 (P54) ・ストレスの感じやすさ (P62) ・体力測定と体力 (P74) ・スポーツで求められること (P75) ・野がスポーツの安全な行き方 (P79) ・メタボリックシンドローム (P88) ・「アルハラ」は人権侵害 (P94) ・研究が進む、がんの治療 (P102) ・「ヒヤリ・ハット」体験 (P109) ・津波でんでんこ (P119) ・日常と災害時を分けない備え (P121) ・救命の連鎖 (P122) ・学んで救う大切な命 (P126) ・応急手当の講習を受けてみよう (P127) ・オリンピック体験 (P140) ・変わりゆくスポーツ視聴 (P141) ・よきライバル (P142) ・スポーツでつながる世界 (P143) ・知って防ごう食中毒 (P154) ・HIV感染症・エイズは世界の問題 (P159) ・病気やけがの状態、どう伝える? (P162) ・二酸化炭素が判断力を鈍らせる?! (P174) ・地球の水資源 (P177) ・現存する日本最古の下水道 (P179) ・災害時のトイレと健康 (P179) ・化学物質と健康 (P183) 	<ul style="list-style-type: none"> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「探求しようよ」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「課題発見」→「学習の課題」「本文・資料」→「課題の解決」→「学びを生かす」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして、「キーワード」「技能」「実習」「関連」「協働」「教科書サイト」「情報サプリ」「探究」「発展」「リンク」「コラム」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙に、「この教科書の工夫配慮」として「カラーユニバーサルデザインに配慮して製作しています」「見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」「環境に配慮した紙、植物油インキ、印刷方式を使用しています」と示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リンクマーク」を用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って「教科書サイト」にアクセスします」と記載している。 ・各単元の「ウォームアップ(課題の発見)」により、誰もが体育理論や保健の内容を身近なこととして捉えることができる。 ・巻末に「保健体育の学習の終わりに共に健康に生きる社会 人類と地球の未来のために」を示している。 	